

2021

図書目録

KANSAI UNIVERSITY PRESS

関西大学出版部



関西大学出版部は、第二次世界大戦後の1947（昭和22）年6月に開設されました。当時、岩崎卯一学長が、荒廃した学園の復興を標榜してかかげた「関大ルネッサンス」の一環として構想されたのです。

関西大学における図書出版の始まりは、本学の前身である関西法律学校創立の翌1887（明治20）年11月、『関西法律学校講義録』を発行したのに求められます。以来、本学では各分野の学術論文を学内の機関誌に発表するなど、地道な出版活動が続けてまいりました。

こうした創立期の活動を経て設置された関西大学出版部は、欧米のユニバーシティ・プレスを手本とし、研究者の研究成果を発表することを第一義的な使命と考え、今日まで学術図書の出版に重点を置いてまいりました。現在、大学には教育、研究に加え、社会貢献ということが強く求められていますが、優れた研究成果を出版して世に問うということもまた、大学に課せられた社会貢献の1つの姿であり、同時に「学の実化」をスローガンとする関西大学の使命を具体化させたものとも言えます。

近年、出版業界において学術図書を出版することは、非常に困難な状況となっております。しかし、そうした時代であればこそ、むしろ、大学出版部が果たすべき役割は重大であると考えます。

今後とも初心を忘れることなく、学術図書の灯をともし続けてまいりたいと、決意を新たにいたしております。

関西大学出版部

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

TEL. 06-6368-0238 FAX. 06-6389-5162

E-mail: shuppan@ml.kandai.jp

<https://www.kansai-u.ac.jp/Syppan/>

目 次

2020年度刊行分 新刊案内	2
関西大学出版部出版図書	5
哲学・心理学・宗教	5
歴史・地理	7
社会科学——社会科学総記	9
——政治	10
——法律	11
——経済・経営	13
——社会	15
——教育	17
自然科学	19
工学・工業	20
芸術・生活	21
語学	22
文学	25
関西大学東西学術研究所出版図書	28
関西大学経済・政治研究所出版図書	37
関西大学法学研究所出版図書	38
著訳編者名索引	39
書名索引	42

2020年度刊行分 新刊案内



もう一つの内藤湖南像

— 関西大学内藤文庫探索二十年 —

陶 徳民 著

B5 412頁 定価 4,400円(本体価格 4,000円+税) ISBN 978-4-87354-728-2 C3021 (2021.3) ⑧

内藤湖南の学問的・政治的営みと特徴について、「『欧西と神理相似たる』日中の学問方法論発掘と顕彰」、「東洋『美術』の精粹たる書画への嗜好と推賞」および「アジアをめぐる欧米列強との競合と西洋文明を模倣した近代日本への反省」という三方面から解明。180余点の写真でその生涯事蹟を再現、関連の人物小伝と書物の序跋も付録。



戦後日本経済と政策金融

— 日本政策投資銀行を事例にして —

原田 輝彦 著

A5 116頁 定価 2,090円(本体価格 1,900円+税) ISBN 978-4-87354-735-0 C3030 (2021.3) ⑧

金融は経済を支える役割を担っており、資金需要者に一定の対価徴求と引き換えて提供することで経済が成り立つことが知られている。政府金融機関である日本政策投資銀行が創設時から今日まで、民間実体経済に対する資金供給＝金融経済の大きな担い手として、政府による投融资活動を果たすことで日本経済に大きく寄与したことを解説する。



西ヨーロッパ・キリスト教民主主義の研究



土倉 莞爾 著

A5 454頁 定価 4,070円(本体価格 3,700円+税) ISBN 978-4-87354-734-3 C3031 (2021.3) ⑧

フランスを中心として、西ヨーロッパのキリスト教民主主義の歴史をたどる研究書。キリスト教民主主義政党は、第二次世界大戦直後、西ヨーロッパの多くの国で隆盛を極めたが、1970年代頃から衰微していった。「キリスト教民主主義」はなぜ終わったのか。20年間に亘って執筆した論文と書評を一冊にまとめた「ビフォー・リベラル」な書。



メディア スポーツ 20世紀

— スポーツの世紀を築いたのは、スポーツかメディアか —



黒田 勇 著

A5 284頁 定価 1,650円(本体価格 1,500円+税) ISBN 978-4-87354-730-5 C3036 (2021.3) ⑧

20世紀の身体とスポーツが、いかに誕生し成長していったのか。「マラソンの誕生」から「ヒマラヤ征服」まで、20世紀前半を彩ったスポーツイベントに焦点をあてる。スポーツイベントの誕生と発展には、新聞やラジオといったメディアが大きな役割を果たし、初期から鉄道会社の郊外開発や宗教的な情熱も関わっていたことを明らかにする。

ポスト・ソーシャル時代の福祉実践



黒田 研二 狭間 香代子 福田 公教 西川 知亨 共編

A5 186頁 定価 1,650円 (本体価格 1,500円+税) ISBN 978-4-87354-731-2 C3036 (2021.3) ㊞

激動の社会状況のなかで、人と人とのつながりに関する楽観論と悲観論が併存するポスト・ソーシャル時代において、社会福祉はどこへ向かうのだろうか。「こころ・からだ・くらし」の福祉を探究する人間健康学の観点から、現代から次世代へと継承・展開していくポスト・ソーシャル時代の福祉実践の可能性について考察するものである。

〈体育会系女子〉のポリティクス



— 身体・ジェンダー・セクシュアリティ —

井谷 聡子 著

A5 268頁 定価 2,200円 (本体価格 2,000円+税) ISBN 978-4-87354-732-9 C3036 (2021.3) ㊞

強靱な身体と高度な技能、苦しい練習を耐える精神力や自律が求められるエリートアスリートの世界。だが日本の女子選手は「女らしくしろ」「女になるな」と、男子選手ならば経験することのない矛盾した要求を突きつけられる。「体育会系女子」の言説と、アスリートとしての誇りとジェンダー規範の衝突に迫るスポーツとジェンダー研究書。

大学での学び



— その哲学と拡がり —

田中 俊也 著

A5上製 178頁 定価 2,200円 (本体価格 2,000円+税) ISBN 978-4-87354-725-1 C3037 (2020.10) ㊞

「大学での学び」に要求される本質的な特徴を「学びの哲学」として捉え、問題解決、協同、創造、感動をキーワードにして詳述した。そうした「哲学」を元に運営されたゼミで学び、現在ではさまざまな領域で活躍している18名の卒業生たちの「実践」を、エビデンス・データとして紹介。「大学での学び」がどのように拡がっているかを検証した。

〈現場〉のアイドル文化論



— 大学教授、ハロプロアイドルに逢いにゆく。 —

森 貴史 著

四六判 310頁 定価 1,870円 (本体価格 1,700円+税) ISBN 978-4-87354-724-4 C3070 (2020.7) ㊞

ゼミ生の卒論がきっかけでアイドルにハマる「こじらせ」大学教授は、40代後半で初めてアイドルに逢いにゆく。本書はその〈現場〉での体験を元に考察したアイドル文化論。現在のアイドルと、それをめぐるファンコミュニティと〈現場〉のあり方を論じることで、現代日本のアイドル文化の実態を広範に論じる、稀有なサブカルチャー研究書。

英語ことわざ使用の実態



奥田 隆一 著

A5上製 200頁 定価 2,090円 (本体価格 1,900円+税) ISBN 978-4-87354-727-5 C3082 (2020.12) ㊞

英語のことわざの本には、どのように使われるのか、今でも使われているのか、という情報がはばない。本書では英語学の分析方法や知見を基礎に、ことわざの表現形式に注目し、現代英語で実際に使用されている具体例を検討、英語のことわざの使用に関する現状とその特徴を明らかにした。現代英語での各ことわざの使用頻度リストを掲載。



現代中国語アスペクトの体系的研究



戴 耀晶 著／李 佳樑 小嶋 美由紀 共訳

A5上製 268頁 定価 3,630円 (本体価格 3,300円+税) ISBN 978-4-87354-729-9 C3087 (2021.3) ©

中国語におけるアスペクト研究の第一人者である戴耀晶の名著『現代漢語時体系系統研究』の日本語訳書。中国語に触れた人なら一度は興味を持つ中国語の難解なアスペクト現象。海外の研究で影響力のある分析手法も取り入れながらも、独自のアプローチで体系的かつ包括的に論じている。本書は原著者の考えをより伝えるため訳者註を施した。



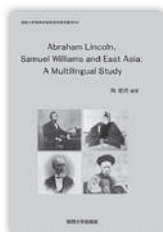
アラン・ロブ＝グリエの小説Ⅱ



奥 純 著

A5上製 332頁 定価 4,400円 (本体価格 4,000円+税) ISBN 978-4-87354-726-8 C3098 (2020.11) ©

抑圧と分断を超えた新しい生活のために、不連続な未来を生きる想像力とは何か。フランスに新風を巻き起こした文芸改革運動ヌーボー・ロマンの先駆者アラン・ロブ＝グリエ。その作品は非常に難解で、幻想的な雰囲気満ちている。本書は彼の作品構成の変遷とその意味を考察。ロブ＝グリエの作家としての全貌を明らかにすることを試みた。



関西大学東西学術研究所研究叢刊64

Abraham Lincoln, Samuel Williams and East Asia

— A Multilingual Study —

陶 徳民 編著

B5 214頁 定価 6,380円 (本体価格 5,800円+税) ISBN 978-4-87354-737-4 C3021 (2021.3)

将軍家茂に返信しジョセ彦を日本に派遣したリンカーン大統領と、バリーの通訳官と北京駐在代理公使を務めた宣教師ウィリアムズ。開国以降の中国・日本に影響し続けている二人の米国人に関する論考。本書は明星大学東京リンカーンセンターなどに所蔵されている一次資料より執筆した論文7編、関連する写真170余点と目録で構成されている。



関西大学東西学術研究所資料集刊27-9

家礼文献集成 日本篇 九

吾妻 重二 編著

B5上製 322頁 定価 6,050円 (本体価格 5,500円+税) ISBN 978-4-87354-736-7 C3014 (2021.3)

朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第9冊。儒教祭儀礼をめぐる山崎闇斎、浅見綱斎の著作および講義を影印収載する。すなわち闇斎の『文会筆録』家礼部分、綱斎の『家礼師説』、『喪祭小記』、『通祭喪葬小記』および『浅見先生祠堂考』、『家礼紀聞』、『喪祭略記』である。『家礼師説』(写本)には全文の翻刻を附した。解説つき。



関西大学東西学術研究所資料集刊49

『造洋飯書』の研究

— 解題と影印 —

内田 慶市 編著

B5上製 396頁 定価 7,700円 (本体価格 7,000円+税) ISBN 978-4-87354-733-6 C3039 (2021.3)

16世紀以降、イエズス会宣教師をその主な担い手とする「西学東漸」という一大潮流が巻き起こり、様々なものが西から東にもたらされた。本書は中国で最初に出版された西洋料理レシピ本である『造洋飯書』(1866)と、その後継である『西法食譜』(1889)を影印。解題として「近代中国における西洋料理の伝播と受容—『造洋飯書』を中心に」を付した。

哲学・心理学・宗教

ドイツ古典哲学の本質と展開

鯨坂 真 著

A5上製 258頁 定価 3,630円 (本体価格 3,300円+税)
ISBN 978-4-87354-531-8 C3010 (2012.2) ㊞

カントからヘーゲルにいたるドイツ古典哲学の特質とその歴史的な展開を追究する。デカルト、スピノザなど大陸の合理主義と、ロック、ヒュームなどイギリス経験主義との総合といわれるカント哲学の特徴と、これをもとにして発展してきたシェリングおよびヘーゲルの弁証法論理の展開などの解明を目指している。

存在・感情・政治

—スピノザへの政治心理学的接近—

河村 厚 著

A5上製 424頁 定価 4,070円 (本体価格 3,700円+税)
ISBN 978-4-87354-556-1 C3010 (2013.3) ㊞

スピノザの倫理学と政治学を、コナトゥスと「感情の模倣」を中心的基軸に据えて現実主義の観点から考察。スピノザを、喜び、肯定、マルチチユードの哲学として評価する1960年代以降の一つの潮流とは一線を画した解釈を提示。附論でディープエコロジーやコールバークの道徳性発達理論とスピノザの関係について考察。

ドイツにおけるラディカルな敬虔主義

ハンス・シュナイダー 著／芝田 豊彦 訳

A5上製 290頁 定価 2,750円 (本体価格 2,500円+税)
ISBN 978-4-87354-570-7 C3016 (2013.11) ㊞

ドイツキリスト教史の盲点ともいべき歴史現象が、厳密な考証に基づいて活写されている。ゲーテに影響を及ぼしたアルノルトをはじめ、ペーターゼン夫妻、ディッペル等、従来の敬虔主義を正しく理解するうえにも必須の人物や運動が、興味深く描かれている。詳細な原注に加え、訳注、人名および著者名索引も付した。

現実と落着

—無のリアリティへ向けて—

山本 幾生 著

四六判上製 436頁 定価 3,300円 (本体価格 3,000円+税)
ISBN 978-4-87354-571-4 C3010 (2014.2) ㊞



現実とはどのように形成され、どこからどこへ向かい、どこに落ち着く処があるのか。本書はディルタイとショーペンハウアーの哲学を読解し、現実の様々な連関が織糸のように交差する〈私〉の直中にその当処を求める。そして静が動を否定するように現実の渦動を否定する無が〈私〉の直中でリアルに息づいているのかと問う。

落着と実在

—リアリティの創出点—

山本 幾生 著

四六判上製 448頁 定価 4,180円 (本体価格 3,800円+税)
ISBN 978-4-87354-668-1 C3010 (2018.2) ㊞



20世紀前半のドイツ・ナチ政権のもとで廃棄処分となったミッシュの『生の哲学と現象学』によるハイデガー批判を読解しながら、フッサールからハイデガーへの現象学に対してディルタイからジンメルを介したミッシュへの生の哲学を〈流れの中に線を引く解釈学〉として掘起し、現実が落着する生のリアリティの創出点へ至る。

個人科学としての心理学

—分析から自証へ—

野村 幸正 著

四六判上製 384頁 定価 2,750円 (本体価格 2,500円+税)
ISBN 978-4-87354-587-5 C3011 (2014.7) ㊞

心理学が学として確立するためには、現行の分析科学のもつ限界を認識し、それを代替、補完する科学が不可欠である。本書は東洋思想を基軸にして前概念的な生の世界、つまり体験の内容ではなく過程（純粋経験）に着目し、その自証体験、および内部観測から行為の理論を構築し、その普遍性を独自の実践を介して吟味してゆく。

人の顔または表情の識別について 下

—知覚論的諸問題—

池田 進 著

A5上製函入 418頁 定価 4,950円 (本体価格 4,500円+税)
ISBN 978-4-87354-597-4 C3011 (2015.2) ㊞

「人の顔」を見て誰だかがわかるのか或る人の人となりが見分けられることなどの「なぜ」を心理学の立場で調べようとすると向き合わなければならない難しさがどこにあるのかを、「見る」という心のはたらきの基本に立ち返ってあらためて考えてみた。主要な論点は、視覚の生態学的視点と、認知論的視点の比較考察である。

古新聖經殘稿 外二種 北堂本與滿漢合璧本

内田 慶市 李爽學 編

B5上製 364頁 定価5,500円(本体価格5,000円+税)

ISBN 978-4-87354-686-5 C3014 (2018.12) ㊦

幻の漢訳聖書といわれた『古新聖經』の中でも特に重要な版本である北堂版とサンクト・ペテルブル版の二種を世界で初めて影印し翻字と解題を付した。漢訳聖書研究に極めて有益な資料であり、翻訳論あるいは近代中国語の形成を見る上でも貴重なものであり、漢訳聖書研究はこれによって新たな高みに向かうことになる。

意味論の内と外

—アキナス 言語分析 メレオロジー—

加藤 雅人 著

A5上製 276頁 定価2,860円(本体価格2,600円+税)

ISBN 978-4-87354-690-2 C3010 (2019.3) ㊦



アキナスのエッセについて、従来の存在論的解釈に対して、論理学や言語分析の概念を用いた意味論的二区分という視点からの再解釈（第一章～第四章、第十章）。中世のメレオロジー（全体-部分という概念枠）についての本邦初の論考（第五章と第六章）。アキナスの個体論、魂論についての論考（第七章～第九章）。

風土学はなぜ 何のために

オギュスタン・ベルク 著／木岡 伸夫 訳

四六判 126頁 定価1,980円(本体価格1,800円+税)

ISBN 978-4-87354-697-1 C3010 (2019.3) ㊦



オギュスタン・ベルクは、日本留学を機に、西洋とは異質な日本の風土に出会い、和辻哲郎の風土学を知る。人間と自然の不可分な関係を前提する風土学は、近代の二元論を批判し、二元論にもとづく西洋近代文明を相対化する。小著ながら、「通感化」をはじめとする独自の概念にいかに対応したかが、コンパクトに語られている。

歴史・地理

EUと日本学

—「あかねさす」国際交流—

藪田 貫 浜本 隆志 編著

A5 236頁 定価 1,980円 (本体価格 1,800円+税)
ISBN 978-4-87354-536-3 C3020 (2012.3) ㊞

関西大学と大正ロマンの世界

—「夢の顔たち」の人脈ヒストリア—

浜本 隆志 著

四六判 264頁 定価 1,760円 (本体価格 1,600円+税)
ISBN 978-4-87354-661-2 C3021 (2017.9) ㊞

大島鎌吉というスポーツ思想

—脱近代化の身体文化論—

伴 義孝 著

A5上製 778頁 定価 6,050円 (本体価格 5,500円+税)
ISBN 978-4-87354-557-8 C3023 (2013.3) ㊞

ドイツ奇人街道

森 貴史 細川 裕史 溝井 裕一 共著

四六判 350頁 定価 2,200円 (本体価格 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-586-8 C3022 (2014.7) ㊞

朝鮮における戦時「国語常用」 政策下の「毎日新報」

—「国語」教材および「国語」欄記事の紹介と解題—

熊谷 明泰 編著

A5 846頁 定価 7,920円 (本体価格 7,200円+税)
ISBN 978-4-87354-613-1 C3021 (2015.3) ㊞

東洋汽船と映画

松浦 章 笹川 慶子 著

A5 450頁 定価 3,410円 (本体価格 3,100円+税)
ISBN 978-4-87354-641-4 C3021 (2016.9) ㊞

なにわの事もゆめの又ゆめ

—大坂城・豊臣秀吉・大坂の陣・真田幸村—

北川 央 著

四六判 180頁 定価 1,540円 (本体価格 1,400円+税)
ISBN 978-4-87354-643-8 C3021 (2016.11) ㊞

多文化共生を標榜する EU。関西大学は EU 本部のあるベルギーのルーヴェン・カトリック大学との提携を踏まえ、EU と日本学の相互理解をめざして国際交流を推進してきた。本書はその経験にもとづいて、多面的に幅広く異文化に目を向けつつ、ますます進展するグローバル化時代へ寄与するために提言を試みたものである。

関西大学の130年の歴史を振り返ってみると、それは一種の壮大なドラマであった。本書では千里山移転や「大学昇格」を成し遂げた大正ロマンの時代を中心に据えながら、大学を築いた先人たちの人脈相關図を诗情豊かに再現してみた。多くの知られざるエピソードを交え、興味深く読んでもらえる「関西大学物語」である。

技術革新とは「からだ働き性＝動く・働く・作る」の代位装置である。過剰な代位は身体性の空洞化を招来させる。このまま運動不足現象が進めば、人間根本の自壊的虚弱化で生存が否定され、水平線の彼方に、原爆とは別の人類破滅の暗雲が立ちこめる。スポーツで何ができるのか。大島生命観がマイナス防止を怠るなど大呼する。

ベアーテ・ウーゼ、サン＝ジェルマン伯爵、シュテルテペカー、プレトリウス、ミュンヒハウゼン男爵、ルッツ・ハック、ヴァイスハウプトなどの、日本ではこれまであまり語られることのなかったドイツの奇人たちの生涯と実像を、関連の深い都市とともに、新資料から明らかにする伝記集。奇人の町をたどるルート案内つき。

植民地下の朝鮮において、戦時下「国語常用運動」の要請により、朝鮮語新聞「毎日新報」に「国語（＝日本語）」欄が設けられた。本書は、「国語」欄に掲載された各種の「国語」学習教材や一般記事を集めた資料集に解題を付したものである。本書により、「毎日新報」の「国語」欄の全体像を把握することができる。

東洋汽船会社は浅野総一郎が創業したアジアを代表する汽船会社のひとつである。その東洋汽船が渋澤榮一らの貴賓会や大隈内閣の外客誘致政策の影響下に東洋フィルム会社を設立、それが後に谷崎潤一郎を迎えた大正活映に発展する。製作配給興行における東洋汽船の新しすぎる試みは、亀裂を生みつつ、新たな地平を切り開く。

豊臣秀吉が天下統一の拠点として築き、大坂夏の陣で落城した大坂城。本書は、本願寺八世蓮如の大坂御坊建立に始まる大坂城の歴史、今も残る大坂城の石垣や櫓・門などの古建造物の魅力、秀頼時代の豊臣家の実像と大坂の陣勃発の経緯、大坂の陣における真田幸村の活躍ぶりを、最新の研究成果に基づき、わかりやすく紹介する。

飛鳥藤原京の山河意匠

— 地形幾何学の視点 —

木庭 元晴 著

B5 248頁 定価 3,960円 (本体価格 3,600円+税)

ISBN 978-4-87354-677-3 C3021 (2018.3) ㊞

飛鳥時代の仏塔や天文台そして藤原宮は、推古期に設置された天の北極（真北）軸や大和三山の太極（垂心）に精緻に配置されていた。隣接する飛鳥川と高取川の付け替えは斉明期に施行された。記紀やこれまでの研究では全く触れられてこなかった歴史的事実を精緻な地形情報と考古遺跡の分布からはじめて明らかにした。

越境の野球史

— 日米スポーツ交流とハワイ日系二世 —

森 仁志 著

四六判 296頁 定価 2,090円 (本体価格 1,900円+税)

ISBN 978-4-87354-679-7 C0021 (2018.7) ㊞

ハワイの日系人最強チーム「朝日」の選手たちが、日米の架け橋になってプロ野球の誕生から発展期にはたした役割を描く。「朝日」出身の若林忠志、銭村健一郎、ウォーリー与那嶺……太平洋を渡る野球人たちのグローバルな生き方を活写。ハワイ（布哇）を基点に「日米」野球交流の歴史を「日布米」交流史として書き換える。

社会科学 社会科学総記

辰巳経世著作集

鯨坂 真 編

A5 366頁 定価 2,310円 (本体価格 2,100円+税)
ISBN 978-4-87354-682-7 C3030 (2019.1) ㊞



関西大学を卒業後、治安維持法違反による検挙にも屈せず、病身を押し、奴隷制度の研究、日本ファシズムへの警告、日本で最初に『資本論』全巻の解説書等を著した辰巳経世。のちに未発表の原稿が発見され、『戦前の出版物を保存する会』によって上梓された。本書は、辰巳経世が残した渾身の力作をまとめた著作集である。

大学生、福島を聴く — 東日本大震災と「心の復興」—

橋口 勝利 著

A5上製 304頁 定価 2,640円 (本体価格 2,400円+税)
ISBN 978-4-87354-715-2 C3030 (2020.3) ㊞



東日本大震災から9年。福島は震災記憶の風化と農産品の風評被害に直面する。福島第一原発事故の被害に苦しむ住民、復興へ尽力する自治体職員や地域住民。大学生たちは、福島の人々と触れ合うことで、自らの認識を変え、自分たちの出来ることを探し出す。それは思い込みで福島を遠ざけるのではなく、ありのままを伝えることである。

グローバリゼーションを規律する Money and Justice の関係について

原田 輝彦 著

A5 272頁 定価 3,190円 (本体価格 2,900円+税)
ISBN 978-4-87354-720-6 C3030 (2020.3) ㊞



本書は貿易構造高度化と国際金融システム論をめぐるグローバリゼーションの進展、今日のビジネス環境、多国籍企業の特徴や、グローバルビジネスと地域経済の関係を多面的に論じる。また、国内法と国際法の変容にも言及しており、公正な貿易の発展を支える国際金融制度構築と歴史的な文脈を明らかにする。

Japan's Economic Relations with Africa in a Historical Perspective — A Study of The Pre-War Japanese Consular Reports —

北川 勝彦 著

※全て欧文で記載

A5 160頁 定価 2,420円 (本体価格 2,200円+税)
ISBN 978-4-87354-712-1 C3030 (2020.3) ㊞



日清・日露戦争の勝利からアジア・太平洋戦争の敗北前夜にいたる帝国日本の経済外交とアフリカ植民地に対する経済戦略を考察し、第二次世界大戦後の日本の国際関係における独立アフリカの位置づけを展望する。また、日本とアフリカの経済関係の展開を歴史的に考察し、両大戦間期と戦後の世界経済史研究に新たな地平を開く。

現代日本の政治思想的考察

土倉 莞爾 著

A5 374頁 定価 3,080円 (本体価格 2,800円+税)
ISBN 978-4-87354-614-8 C3031

(2015.3) ㊞



本書は、現代における日本の政治を一定の角度から論じたものである。すなわち、主として、「政権交代」と「橋下旋風」をめぐる、現代日本の選挙政治について論じている。さらに、social capital 論と、安保闘争期の清水幾太郎を中心にして、ジャーナリズムと知識人についても、焦点をあてて論じている。

ポピュリズムの現代

— 比較政治学的考察 —

土倉 莞爾 著

A5 400頁 定価 4,400円 (本体価格 4,000円+税)
ISBN 978-4-87354-695-7 C3031

(2019.3) ㊞



現代はポピュリズムの時代である。ポピュリズムの様相は国により異なるが、デモクラシーにとって重要なのは、それら一つ一つを解きほぐし対応していくことであろう。そのような視角から、フランスの大統領選挙を始めとする近年の選挙動向、イギリスの Brexit、日本の橋下徹と大阪維新の会を題材とし、個別に研究する。

アメリカが生む／受け入れる難民

大津留(北川) 智恵子 著

A5 296頁 定価 2,310円 (本体価格 2,100円+税)
ISBN 978-4-87354-639-1 C3031

(2016.9) ㊞



移民の国と言われるアメリカは数多くの難民を受け入れてもいる。その中にはアメリカが始めた戦争により生まれた難民も含まれる。難民化の原因を作ったアメリカにおいて、再定住した難民と地域社会との間に築かれる新たな関係を、インドシナ戦争時のモン族難民とイラク戦争時のイラク難民への聴き取り調査をもとに分析する。

政府—NPO 関係の理論と動向

— 日・英・米における

パートナーシップ政策を中心に —

廣川 嘉裕 著

A5 156頁 定価 1,870円 (本体価格 1,700円+税)
ISBN 978-4-87354-659-9 C3031

(2017.7) ㊞

NPO は公共サービスの供給、民主主義の活性化において大きな役割を果たす可能性があるが、そのためには政府・行政との適切な関係の構築が不可欠である。そこで本書では、日本、イギリス、アメリカにおける理論研究や実際の政策動向をもとに、NPO が独自の政治的・社会的機能を可能な限り発揮するための方策を探る。

社会科学 法 律

死刑選択基準の研究

永田 憲史 著

A5上製函入 274頁 定価 3,080円(本体価格 2,800円+税)
ISBN 978-4-87354-499-1 C3032 (2010.9) ㊞

わかりやすい刑罰のはなし

— 死刑・懲役・罰金 —

永田 憲史 著

四六判 242頁 定価 1,650円(本体価格 1,500円+税)
ISBN 978-4-87354-532-5 C3032 (2012.2) ㊞

財産的刑事制裁の研究

— 主に罰金刑と被害弁償命令に焦点を当てて —

永田 憲史 著

A5上製函入 490頁 定価 4,070円(本体価格 3,700円+税)
ISBN 978-4-87354-568-4 C3032 (2013.10) ㊞

労働者概念の再構成

川口 美貴 著

A5上製 508頁 定価 4,180円(本体価格 3,800円+税)
ISBN 978-4-87354-542-4 C3032 (2012.3) ㊞

法的強制と人格性

ギュンター・ヤコブス 著／川口 浩一 飯島 暢 共訳

A5上製 102頁 定価 1,760円(本体価格 1,600円+税)
ISBN 978-4-87354-545-5 C3032 (2012.3) ㊞

国家刑罰

— その意義と目的 —

ギュンター・ヤコブス 著／飯島 暢 川口 浩一 共訳

A5上製 140頁 定価 1,980円(本体価格 1,800円+税)
ISBN 978-4-87354-560-8 C3032 (2013.3) ㊞

法益保護によって刑法は 正当化できるか？

ギュンター・ヤコブス 著／川口 浩一 飯島 暢 訳

A5上製 106頁 定価 2,200円(本体価格 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-594-3 C3032 (2015.2) ㊞

どのような事例で死刑が言渡されるのか。本当に厳罰化したのか。永山事件以降の全死刑判決及び検察官上告事件を検討し、死刑と無期懲役の基準を明らかにする。合わせて犯行当時少年の被告人に対する基準を検討するとともに、光市事件判決を理論的に分析。死刑選択が争点となる裁判員裁判も扱った。巻末に死刑判決の資料掲載。

光市事件の最高裁判所の判決で死刑の基準は変わったのか、どの刑務所に入るかはどうか決まるのか、懲役の受刑者は月にいくもらえるのか、罰金を払わないとどうなるのか、罰金と交通反則金は違うのか。意外に知られていない刑罰を言い渡す手続きや刑罰の仕組み60テーマを「ですます調」でわかりやすく解説。

罰金刑・没収刑・被害弁償命令・刑事司法における手数料などに関するアメリカ・ドイツ・ニュージーランドの制度・運用・理論を素材に、財産を対象とする刑事制裁について包括的に考察する。罰金刑の目的について新たな提案を行い、量定方法に関する議論に新風を吹き込む。刑罰論に新たな視座を提供する注目の理論書。

労働法分野及び労働基準法・労働契約法・労働組合法の対象とする労働者に関して、法制の沿革を考察し、使用従属性を判断基準とする従来の行政解釈・学説・判例を批判的に検討する。また自ら他人に有償で労務を供給する者であること及び交渉の非対等性を基本的判断基準として、法理論を体系的に再構成し、労務供給者の類型別に再検討する。

緊急権（正当防衛・緊急避難）、刑罰、保安処分といった刑法上の強制手段を、カント、フォイエルバッハ、ヘーゲルの法哲学的見解に遡りながら、人格、法的強制、法秩序の概念に基づいて統一的に説明。ヤコブス刑法思想の根幹をなす基礎理論の邦訳。付録として、ヤコブスによる講演「管轄の段階」の翻訳も収録。

国家刑罰論の本質を思想史的な背景から鋭利に描き出すヤコブス刑罰論の翻訳。付録として、講演「どのようにして何を刑法は保護するのか？」の翻訳と原文も掲載。訳者による解説文も充実。研究者、実務家その他刑法にたずさわる全ての者にとって必読の書。『法的強制と人格性』〔2012年3月既刊〕と対をなす翻訳シリーズ第2弾。

本書においてヤコブスは、法益保護によって刑法を正当化しようとする試みをその歴史背景も含めて批判し、環境犯罪、動物保護、「アウシュヴィッツの嘘」、信仰侮辱、パターナリズム（安全ヘルム・薬物犯罪・囑託殺）等の刑法的規範の正当性に関して代替モデルを提示する。社会損害論に関する論文も付録として収録した。

あなたは加害者？ それとも被害者？

尾島 史賢 編著

A5 118頁 定価 990円 (本体価格 900円+税)

ISBN 978-4-87354-683-4 C0032 (2016.3) ㊞

法律知識を持たないまま軽率な行動をとれば、事件の加害者や被害者になることがある。本書は事例を通して、誰もが巻き込まれる可能性のあるトラブルから身を守る法律知識を、現役弁護士が大学生に向けてわかりやすく解説。お酒をめぐる法律問題など、私生活から恋愛、インターネット、労働、破産、選挙活動まで多様な分野を収録。

シチリア海法序説

栗田 和彦 著

A5上製 326頁 定価 2,970円 (本体価格 2,700円+税)

ISBN 978-4-87354-680-3 C3032 (2018.9) ㊞



文明の十字路・中世地中海交易の要衝シチリアの拠点港メッシーナとトラパニに残る往時の海法を逐条的に分析・検討し、その実像に迫り、スペイン・ヴァレンシア海法との関連性やメッシーナ海法とアマルフィ海法（世にいうFoscarini 本）との類似性など、中世イタリアないし地中海海法史研究上の意義・重要性を解明する。

インドの憲法〔新版〕

—「国民国家」の困難性と可能性—

孝忠 延夫 浅野 宜之 著

A5上製 356頁 定価 3,520円 (本体価格 3,200円+税)

ISBN 978-4-87354-681-0 C3032 (2018.12) ㊞



国民国家のあり方が問われる今、29の州と7の連邦直轄領から成るインドは、その憲法で22の公用語を定め、「多様性のなかの統一」を目指してきた国として知られている。本書は、インドの基本的あり方を詳細に規定するインド憲法を紹介・分析し、その全文和訳（2016年第101次改正までを含む）を行うものである。

米軍基地問題の基層と表層

高作 正博 著

A5上製 450頁 定価 3,300円 (本体価格 3,000円+税)

ISBN 978-4-87354-685-8 C3032 (2019.2) ㊞



沖縄の米軍基地に「抗う」運動は、「民意」と「歴史」に支えられている。米軍基地から派生する様々な問題を、その直接の原因である日米地位協定や国内法、また、その底流で流れ続ける「改憲論」の観点から問い直す。米軍基地問題を日本国内の問題として捉え、その解決のための視座を、主権論や国家論に求める。

社会科学 経済・経営

アメリカのドイツ政策の史的展開 — モーゲンソープランからマーシャルプランへ —

河崎 信樹 著

A5上製 248頁 定価 2,750円 (本体価格 2,500円+税)
ISBN 978-4-87354-540-0 C3033 (2012.3) ㊞

グローバル金融危機と経済統合 — 欧州からの教訓 —

鈴野 仁子 高屋 定美 田村 香月子 徳永 昌弘 著

A5上製 208頁 定価 2,750円 (本体価格 2,500円+税)
ISBN 978-4-87354-541-7 C3033 (2012.3) ㊞

日本貿易の発展と構造

奥 和義 著

A5上製 312頁 定価 3,520円 (本体価格 3,200円+税)
ISBN 978-4-87354-544-8 C3033 (2012.3) ㊞

両大戦間期の日英経済関係の諸側面

奥 和義 著

A5上製 154頁 定価 3,850円 (本体価格 3,500円+税)
ISBN 978-4-87354-631-5 C3033 (2016.3) ㊞

均衡経路の不安定性

佐藤 真人 著

A5上製 268頁 定価 3,850円 (本体価格 3,500円+税)
ISBN 978-4-87354-574-5 C3033 (2014.3) ㊞

戦後日本の資本利益率格差

佐藤 真人 著

A5上製 380頁 定価 6,050円 (本体価格 5,500円+税)
ISBN 978-4-87354-635-3 C3033 (2016.3) ㊞



現代アメリカ国債管理政策史

池島 正興 著

A5上製 448頁 定価 3,850円 (本体価格 3,500円+税)
ISBN 978-4-87354-593-6 C3033 (2014.12) ㊞

第二次世界大戦後におけるアメリカのドイツ政策は、ドイツ経済の完全な破壊を目標として立案されたモーゲンソープランからドイツ経済の復興を実現することを中心的な目標としたマーシャルプランへと大きく転換した。本書は、この大転換が生じたプロセスを、民間部門の役割にも着目しながら明らかにしていく。

本書では、近年の欧州での金融経済危機に焦点をあて、様々な視点からアプローチしている。経済危機の推移、EUの金融政策、金融規制、ロジスティクスの観点から検討する。またロシア・中東欧経済への波及についても検証している。これらを通じて経済危機の多面的な状況を理論的、そして実証的に考察する。

日本の近代工業化の開始期から現在にいたる貿易の発展過程を国際貿易・国際通貨制度の変遷と関連づけて分析し、その構造的特質を明らかにする。それは、標準化された国際経済学のツールを使用し、日本の過去120年余りの経済発展を工業化期、重工業化期（第二次産業革命期）、ポスト工業化期に区分することによってなされる。

1930年代の日英経済関係は満州事変以降、直線的に政治的経済的に緊張したわけではなく、政治的経済的な協調関係の再構築が試みられる一方、世界の諸地域で対抗関係も見られるようになり、国際政治経済の情勢変化の中で多様な可能性が模索されていた。それは現代日本をとりまく国際政治経済情勢を考察する上で示唆に富む過去の鏡になる。

いつ来る好況（あるいは不況）、しかしそれは、いつ来るのだろうか？ そもそも好況と不況の交替、景気循環はなぜ起るのだろうか？ 本書は、このような疑問を出発点に、景気循環を資本主義に付物の経済現象と見て、価格による調整機構との関係でその原因を理論的に追究し、現実を観察している。

資本主義的調整機構として広く受け入れられている価格機構、あるいは「需要と供給の法則」は、利潤率格差と資本移動を考慮しないと不十分との観点から、戦後日本の利潤率、資本利益率の資本金規模別、及び産業部門間格差を資本蓄積との関係で観察、分析し、資本主義的調整過程の順調でないことを主張。

本書は、社会の高齢化に起因する、国債への需要の変化が国債管理政策の新展開を不可避とさせ、また、その結果として、1970年代以降、国債の主たる役割が「営利企業のための国債」から「社会保障制度の一環としての国債」へと転換される、現代アメリカ社会の苦難の歴史を明らかにする。望まれるべき国債制度をも考察する。

経済発展と交通・通信

関西大学経済史研究会 編

A5上製 260頁 定価2,750円(本体価格2,500円+税)
ISBN 978-4-87354-591-2 C3033 (2015.1) ㊦

競争戦略と経営システムの構築

大倉 雄次郎 著

A5上製 380頁 定価3,850円(本体価格3,500円+税)
ISBN 978-4-87354-602-5 C3034 (2015.3) ㊦

新たなリスクと中小企業

(Les PME face aux nouveaux risques)
—日仏シンポジウムの記録—

亀井 克之 編著

A5 178頁 定価2,090円(本体価格1,900円+税)
ISBN 978-4-87354-632-2 C3034 (2016.3) ㊦

Risk Management

—Basic Theory and Case—

亀井 克之 著

A5 82頁 定価1,100円(本体価格1,000円+税)
ISBN 978-4-87354-706-0 C3034 (2019.10) ㊦

※全て欧文で記載



日本のリスクマネジメント理論の 現代的意義

—亀井利明最終講演の記録—

羽原 敬二 亀井 克之 編著

A5 182頁 定価1,650円(本体価格1,500円+税)
ISBN 978-4-87354-640-7 C3034 (2016.10) ㊦

1930年代における日本の金融政策

—時系列分析を用いた定量的分析—

内藤 友紀 著

A5上製 168頁 定価2,860円(本体価格2,600円+税)
ISBN 978-4-87354-664-3 C3033 (2017.10) ㊦



経営学史学会 著書部門学会賞受賞

フレデリック・テイラーとマネジメント思想

廣瀬 幹好 著

A5 294頁 定価3,960円(本体価格3,600円+税)
ISBN 978-4-87354-707-7 C3034 (2019.10) ㊦



本書は、グローバル経済史の研究を志す専門家のための論文集である。近年、グローバル経済の発展の中で交通・通信の役割に経済史家は注目している。新世紀に入り、難題を伴いながらも、新たな展開を示しつつあるグローバル経済を解明する本格的な専門書として、社会人、学生必読の一書である。

イノベーションと経営システムの視点から先進的企業(トヨタ・パナソニック・キヤノン・京セラ・コマツ・セコム・伊藤園・日清食品・スズケン)と連携法人(ベトナム簿記普及推進協議会・船場経済倶楽部・辻製油・ナールスコーポレーション・大分県)の競争戦略を詳述。無形資産(のれん等)・包括利益の財務分析に関する話題の書。

中小企業をテーマにフランス大使館が主催・後援した2つの日仏シンポジウムの記録。第一部「新たなリスクと中小企業」日仏の共通点と相違点は何か、各分野の専門家が討論。第二部は「中小企業経営者の健康・メンタルヘルス」見落とされてきたテーマに光をあてた討論。日本語112頁・フランス語50頁。Livres Franco-Japonais sur les PME.

「決断力にみるリスクマネジメント」をテーマとした英文解説書。(1)リスクマネジメント理論の概説と、(2)タイレノール事件、ルノー・エスバスの開発、事業承継と老舗、健康経営、企業の自然災害対策、マラソン大会の安全管理など豊富な事例による分析から構成された一冊。関係者へのインタビュー2編を付す。

日本におけるリスクマネジメント理論の始祖・亀井利明(2016年1月没)が、2015年に行ったユーモアと毒舌あふれる最終講演の記録。羽原敬二によるリスクマネジメント概説や亀井利明の研究の歩みなども収録して、様々な角度から日本のリスクマネジメント理論の過去・現在・未来を学習できる書物。

1930年代の日本における拡張的な金融政策および、それに付随する為替相場低位安定化の政策効果や実体経済への影響について、さらには信用乗数、貨幣需要関数、期待インフレ率、金利の期間構造、シニョレージなど、当該期の金融政策を取り巻く経済環境について、経済時系列データを用いた計量分析によって明らかにする。

F. W. テイラーが提唱したScientific Managementは、科学的管理法あるいはテイラー・システムとして知られている。しかし、テイラー・システムの基礎をなす彼のマネジメント思想についての検討は、十分ではない。本書は、マネジメント思想史におけるテイラーの位置を明確化しようと試みている。

社会科学 社 会

日本図書館協会選定図書 大阪の笑い

井上 宏 著
四六判 250頁 定価 1,430円 (本体価格 1,300円+税)
ISBN 978-4-87354-322-2 C0036 (1992.7) ①

大阪では古くから笑いの芸能が発達し、今日も盛んなのはなぜなのか。人々に楽しみを与え、人間関係を円滑にし、幸せと健康をもたらす笑いの効用とは何なのか。人間にとつての笑いの重要性を説きながら、大阪人の生活態度や価値観と笑いの関係について分析。特に漫才の笑いや吉本新喜劇についての分析・考察はユニーク。

大阪の文化と笑い

井上 宏 著
四六判 246頁 定価 1,430円 (本体価格 1,300円+税)
ISBN 978-4-87354-380-2 C0036 (2003.10) ①

人間が元気に生き、社会生活をする上で、「笑い」がいかに大事な営みであるか。笑いを大事と心得て「笑いの文化」を育てた都市としての大阪はどんな街なのか。今も人気のある「お笑い」も、その背景に「大阪の文化」が生きておればこそであり、「笑いのない大阪なんて考えられない」大阪の文化について論じる。

日本図書館協会選定図書／第3回日本笑学会賞大賞受賞 笑いの力 — 笑って生き生き —

井上 宏 著
四六判 294頁 定価 1,540円 (本体価格 1,400円+税)
ISBN 978-4-87354-505-9 C0036 (2010.12) ①

人間は誰もが「笑いの力」を持っているが、その力の可能性については十分な認識を持てなかった。現在の閉塞感を突破していくためには、何よりも個人と社会の元気が必要だ。自分を笑い飛ばし、未来に向けての新しいエネルギーを汲み出す「笑いの力」について認識しなおし、その力の効用について訴える。

インティメイト・ストレンジャー — 「匿名性」と「親密性」をめぐる 文化社会学的研究 —

富田 英典 著
A5 396頁 定価 3,740円 (本体価格 3,400円+税)
ISBN 978-4-87354-475-5 C0036 (2009.3) ⑥

匿名性と親密性は相反するものだと考えられてきた。ところが新しく登場した通信メディアによって匿名であるから親密になれる人間関係が登場した。本書は80年代から今日に至る現代社会における情報メディアの発達と人間関係の変容からこの問題を分析し、さらに「複合現実社会」の登場と「社会的迷彩」について論じる。

不透明社会の中の若者たち — 大学生調査25年から見る過去・現在・未来 —

片桐 新自 著
A5 278頁 定価 2,200円 (本体価格 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-585-1 C3036 (2014.7) ⑥

東日本大震災と福島第一原発事故後の、先行きが不透明になった日本社会を大学生たちはどう捉え、どう生きていこうとしているのか。昭和の終わりから四半世紀にもわたって、大学生調査を継続してきた気鋭の社会学者が、日本社会の過去、現在、未来を、若者の意識と価値観から見直す渾身の一冊。

時代を生きる若者たち — 大学生調査30年から見る日本社会 —

片桐 新自 著
A5 318頁 定価 2,200円 (本体価格 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-705-3 C3036 (2019.9) ①

まだ昭和の時代だった1987年から30年間 5年おきに7回、大学生の価値観を調査してきた貴重な社会学研究の集大成。時代の影響を受け、同じ大学生とは言っても、その価値観は大きく変わってきたことが端的に指摘されている。大学生を通して見る日本社会論として読むことができる価値のある一冊。

続・青春の変貌

岩見 和彦 編著
四六判 321頁 定価 2,750円 (本体価格 2,500円+税)
ISBN 978-4-87354-596-7 C0036 (2015.2) ⑦

青春とは何だろうか。それはいつの時代でも誰にでも訪れる青年期であると同時に、その時代の世相を映し出す鏡でもある。フォークソング、ママさんバレー、ブルートレーン、学生街の住人、やおい文化、ブログ、パンクロック……。過去から現代まで50年間にわたる様々な青春の群像を、現代社会論の視点で綴った文化社会学論集。

ソーシャルワーク実践における 社会資源の創出

— つなぐことの論理 —

狭間 香代子 著

A5 184頁 定価 2,750円 (本体価格 2,500円+税)

ISBN 978-4-87354-623-0 C3036

(2016.2) ©



社会資源創出のためにソーシャルワーカーが実践で担う役割に関する質的調査を通して、「つなぐ」というソーシャルワーク機能の重要性が導き出された。「つなぐ」機能の基盤で働く論理と理論的知識の基底にある論理との相違に焦点化することで、ソーシャルワーク実践における「つなぐことの論理」について新たな視座から論じている。

現代社会の福祉実践

黒田 研二 狭間 香代子 岡田 忠克 編著

A5 216頁 定価 1,650円 (本体価格 1,500円+税)

ISBN 978-4-87354-651-3 C3036

(2017.3) ©

2000年以降の一連の福祉改革に対して、福祉実践はどのように向き合っていくのか。また、その背景にある理念をどのように考え、これまでの実践をどのように省みなければならぬのか。本書では、子ども、高齢者、コミュニティにおける福祉実践を通して、その一つの答えを挑戦的に論述したものである。

社会科学 教 育

構成主義パラダイムと学習環境デザイン

久保田 賢一 著

A5 200頁 定価2,090円(本体価格1,900円+税)
ISBN 978-4-87354-308-6 C3037 (2000.3) ㊞

情報技術が急速に発達し、社会が大きく変わろうとしている中で、教育のあり方が問われている。本書は、構成主義というポスト近代のパラダイムを軸に、マルチメディア時代に適合した学習環境を構築していく理論的基礎を提供する。また、インターネットやテレビ会議などを取り入れた高等教育における教育実践を紹介する。

小学校算数科で利用されてきた具体物

— 子どものインフォーマルな知識

および方略に与える影響 —

石井 康博 著

A5 146頁 定価1,760円(本体価格1,600円+税)
ISBN 978-4-87354-551-6 C3037 (2013.2) ㊞

小学校算数科では、これまで種々の具体物が子どもに利用され、利用する上での意義が認められてきた。具体物によって、子どもが就学前に身につけたインフォーマルな知識、そして様々な状況において子どもの方略がいかに引き出されるのであろうか。明治以降の算数科教育を概観し、さらに、実践事例の分析を通して検討している。

大学生の学びを育む学習環境のデザイン

— 新しいパラダイムが拓く

アクティブ・ラーニングへの挑戦 —

岩崎 千晶 編著

A5 410頁 定価2,200円(本体価格2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-575-2 C3037 (2014.3) ㊞

本書は、アクティブ・ラーニングを主軸とした大学生の能動的な学びを育むための学習環境のデザインを構築するための入門書である。理論編では、アクティブ・ラーニングの背景、理念、具体的な手法、学習支援、評価方法について述べ、実践編では演習、多人数講義、ICTの活用、社会連携の視点から授業実践を紹介する。

未来を切り拓く市民性教育

若槻 健 著

A5 170頁 定価1,650円(本体価格1,500円+税)
ISBN 978-4-87354-577-6 C3037 (2014.3) ㊞

近年、実践も蓄積されつつある市民性教育について、理論的に整理し、実践を意味づけることで、「社会をつくり未来を切り拓く市民を育む教育」への視座を提示するものである。その準拠点は、人間関係を出発点にして、社会を担っていく過程に参画する市民の育成を目指す人権教育に基盤を置いたものである。

留学生教育の新潮流

— 関西大学留学生別科の実践と研究 —

カイト 由利子 監修／古川 智樹 編著

A5 210頁 定価2,750円(本体価格2,500円+税)
ISBN 978-4-87354-603-2 C3037 (2015.3) ㊞

本書は、2012年に開設した関西大学留学生別科におけるICTを活用した教育実践と研究の報告である。学習管理システムやeポートフォリオ、その他ICTツールは、留学生の学習・生活の基盤となり得るのか。入学前の学習との連結、多様なニーズへの対応など教育のグローバル化に伴う様々な課題への取組みを紹介する。

新課程 博物館学ハンドブック 1

米田 文孝 森 隆男 山口 卓也 編著

A4 180頁 定価1,650円(本体価格1,500円+税)
ISBN 978-4-87354-615-5 C3037 (2015.3) ㊞

博物館学芸員資格取得のための大学開講科目、博物館概論、博物館経営論、博物館資料論、3教科のハンドブック。学芸員を目指す大学生にわかりやすく、基礎的な事項から解説する。第一線の現場に立つ学芸員、最先端の研究・教育に取り組む気鋭の研究者たちが執筆。コンパクトで取り扱いやすい教科書、副読本である。

新課程 博物館学ハンドブック 2

米田 文孝 森 隆男 山口 卓也 編著

A4 176頁 定価1,650円(本体価格1,500円+税)
ISBN 978-4-87354-616-2 C3037 (2015.3) ㊞

博物館学芸員資格取得のための大学開講科目、博物館展示論、博物館資料保存論、博物館情報・メディア論、博物館教育論、4教科のハンドブック。基礎的な事項から解説する。第一線の現場に立つ学芸員、最先端の研究・教育に取り組む気鋭の研究者たちが執筆。コンパクトで取り扱いやすい教科書、副読本である。

新課程 博物館学ハンドブック 3

米田 文孝 森 隆男 山口 卓也 編著

A4 112頁 定価 1,320円 (本体価格 1,200円+税)
ISBN 978-4-87354-649-0 C3037 (2017.3) ㊟

博物館学芸員資格取得のための大学開講科目、博物館実習のハンドブック。館実習の基本から実務までを、第一線の現場に立つ学芸員、最先端の研究・教育に取り組む気鋭の研究者たちが執筆した。館実習展示会開催に必要な手順と実務を網羅している、コンパクトな教科書・副読本である。

アクティブラーニングのための学習評価法 — 形成的アセスメントの実践的方法 —

シャーリー・クラーク 著／安藤 輝次 訳

A5 236頁 定価 4,400円 (本体価格 4,000円+税)
ISBN 978-4-87354-629-2 C3037 (2016.3) ㊟

アクティブラーニング+学習評価=深く思考・判断する学習。教師だけでなく子どももアクティブラーニングの評価に関わることによって、思考・判断が深まる。そのポイントは、このような学びになればよいという“成功基準”を子どもと一緒に創ることである。そうすれば、小集団やペアなど子ども同士の学びと評価もうまくいく。

持続的な学びのための大学授業の 理論と実践

安藤 輝次 著

A5 188頁 定価 1,980円 (本体価格 1,800円+税)
ISBN 978-4-87354-667-4 C3037 (2018.2) ㊟



人工知能やIoTが進展する中で、学生が学びを持続的に展開する大学授業が求められている。アクティブ・ラーニングだけでは、学生に深い思考は育たない。ルーブリックの学習促進機能を活用して、学びの出来・不出来を明らかにし、不出来を出来るようにする“フィードバック”の方法・技術にその解決の方途がある。

大学教育の国際化への対応

池田 佳子 著

A5 120頁 定価 1,980円 (本体価格 1,800円+税)
ISBN 978-4-87354-704-6 C3037 (2019.3) ㊟



日本の大学の国際化は、必須課題である。従来の「大学」の学生プロフィールを考え直し、海外の高等教育機関と留学生を争奪する戦略が鍵となる。日本人学生も、国外の基準を見据えた変革を進める大学を志向する傾向にあり、大学が自力で進める、キャンパスと教育の国際化のプロセスは安易でない。本書は具体例を交えた状況レポートである。

自然科学

古代の中国文化を探る

— 道教と煉丹術 —

今井 弘 著

A5 254頁 定価 2,200円 (本体価格 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-529-5 C3040 (2011.11) ㊞

古代の漢民族は命の大切さに目覚め、種々の養生術を考案した。道教はこれを受け継いで不老不死の神仙（最高位の仙人）になることを理想とし、神仙思想に陰陽五行・十干十二支・易学等の理論を取り入れて神仙になる丹薬作りを試みた。これが煉丹術（いわゆる錬金術）の始まりである。本書は、その内容を簡易に解説したものである。

なぜビタミンCは健康にいいのか

小幡 斉 著

A5 250頁 定価 1,980円 (本体価格 1,800円+税)
ISBN 978-4-87354-595-0 C3043 (2015.1) ㊞



一般の動物はビタミンCを生合成するが、人と猿は生合成が出来ないため、ビタミンCが不足すると免疫力が低下し、老化が早まり病気にかかり易くなる。そこで、高濃度ビタミンCを摂取し続けていれば、美容効果、抗老化作用と色々な病気（動脈硬化、風邪、脳卒中、心筋梗塞、ガン、白内障、認知症など）の予防と治療に効果を発揮する。

工学・工業

場所の声を聞く

— 集まって住むカタチのデザイン —

江川 直樹 著

A5 212頁 定価 1,980円 (本体価格 1,800円+税)

ISBN 978-4-87354-524-0 C3052 (2011.10) ㊞

「場所の声を聞く」は、時間を経てさらに豊かになる集住環境のために建築はいかにあるべきかを考える視点である。そのような視点からの研究的実践プロジェクトについて、最終的な“カタチ”が導き出された考え方やプロセス、着目すべき視点や手法などを解説する。次代の豊かな集住環境を模索するすべての人々に読んでほしい。

技術の文化史Ⅱ

— 匠の技と美 —

下間 頼一 緒方 正則 編著

B5 276頁 定価 3,630円 (本体価格 3,300円+税)

ISBN 978-4-87354-611-7 C3050 (2015.3) ㊞

広く世界を実地調査し、水道橋・鋏・らせん揚水機等水技術・たたらと日本刀・イスラム装飾タイルの起原を探究した。ケルト文化やヒッタイト文化を見聞し、欧州最高峰モンブランに登頂し、緑のアラビアを実地調査し、技術の発祥と発展を14人の著者が分担解明した。世界各地の水彩スケッチや天工開物等のコラムを挿入した。

芸術・生活

カンパーの顔面角理論

森 貴史 訳・解説

四六判 230頁 定価 1,980円 (本体価格 1,800円+税)
ISBN 978-4-87354-534-9 C3070 (2012.2) ㊞

18世紀オランダの解剖学者ペトルス・カンパーの顔面角理論は、日本ではこれまでその名称と一部の図版だけがひとり歩きしていたと言える。しかし、今回ようやく、この翻訳によって、カンパーの謎に満ちた著作の全容が明らかになる。本文全訳および付属する図版10点のほか、丁寧な脚注、訳者による詳細な解説つき。

顔をみること

— 表された顔をめぐる美術史・文化史的断章 —

蜷川 順子 他 著

A5上製 212頁 定価 2,420円 (本体価格 2,200円+税)
ISBN 978-4-87354-539-4 C3070 (2012.3) ㊞

キリスト教教会などの境界域に見られるグリーンマン、ユトレヒト写本を中心とした初期中世写本、「我に触れるな」主題に関連するマグダラのマリアのイメージ、近代初期フランドル写本のクローズアップや、江戸期の狩野派や文人画の相貌表現など、洋の東西を問わず取りあげた、絵画や彫刻に表された顔をめぐる多面的考察。

第6回表象文化論学会賞奨励賞

アメリカン・リアリズムの系譜

— トマス・エイキンズからハイパーリアリズムまで —

小林 剛 著

四六判上製 268頁 定価 2,860円 (本体価格 2,600円+税)
ISBN 978-4-87354-576-9 C3070 (2014.3) ㊞

アメリカ美術においては周期的に多様な形態のリアリズムが現れては消え、その都度アートの枠組みが更新されている。そうしたリアリズムの系譜を19世紀から現代まで時代ごとの文化的背景も踏まえながら追っていくことによって、「世界認識の方法」としてのリアリズムがアメリカ文化のなかで果たしてきた役割を明らかにする。

泊園書院と大正蘭亭会百周年

藪田 貫 陶 徳民 編著

A5 394頁 定価 3,850円 (本体価格 3,500円+税)
ISBN 978-4-87354-601-8 C3070 (2015.3) ㊞

懷徳堂とならぶ大阪の私塾泊園書院と大正蘭亭会100年の軌跡。第1部では、藤澤東暎・南岳・黄鶴・黄坡の「三世四代」120年余の開催された蘭亭会の軌跡を名品で迎るとともに、失関問題の最中に開催された日中の著名書家による揮毫作品展示の記録を収める。近世から現代の大阪における漢学研究・日中交流の動向を明らかにした貴重な一冊。

続狂言史の基礎的研究

関屋 俊彦 著

A5上製 834頁 定価 8,800円 (本体価格 8,000円+税)
ISBN 978-4-87354-610-0 C3070 (2015.3) ㊞

第一論文集『狂言史の基礎的研究』以来20年ぶりに狂言を史的観点から総括。新たに見出された大蔵宗家文書と新生田文庫本の二本柱を軸に展開される。常に文学史を念頭に置いて書かれた恩師伊藤正義氏の遺訓を胸に、後学のためにあえて「室町時代の天才たち」を冒頭に、人間喜劇としての狂言が世界の笑い研究にいかに関わるかを示唆。

ビルダーボーゲンの研究

宇佐美 幸彦 著

A5上製 796頁 定価 7,150円 (本体価格 6,500円+税)
ISBN 978-4-87354-633-9 C3070 (2016.3) ㊞

ビルダーボーゲンとは19世紀ドイツの大衆の間に普及した一枚絵の印刷物である。ドイツ版の浮世絵・瓦版であり、グラビア雑誌、マンガ、アニメの原型である。視覚・情報メディアの歴史的研究には不可欠な研究対象である。また大衆の生活、心情が反映されており、ドイツ大衆を歴史的に把握するためには貴重な史料である。

林謙三『隋唐燕楽調研究』とその周辺

長谷部 剛 山寺 三知 共編訳

A5 380頁 定価 2,420円 (本体価格 2,200円+税)
ISBN 978-4-87354-654-4 C3073 (2017.3) ㊞

名著復活！世界的に著名な東洋音楽学者、林謙三の不朽の名著『隋唐燕楽調研究』は日本語原稿が失われ、郭沫若の中国語訳しか現存しない。本書は、郭訳に基づき日本語版を復元、また、林謙三の未発表稿「唐楽調の淵源」、「郭沫若さんと私の『隋唐燕楽調研究』」、陳応時「『隋唐燕楽調研究』の新見解を論ず」なども収録。

韓国の英語教育政策

— 日本の英語教育政策の問題点を探る —

河合 忠仁 著

A5上製 298頁 定価 3,190円 (本体価格 2,900円+税)
ISBN 978-4-87354-392-5 C3082 (2004.3) ㊞

英語が使える韓国人の育成を既に開始している韓国は、英語教育を重要な国家教育政策として捉えている。韓国の歴史、政治、経済、文化などを理解しつつ、韓国の『教育課程』と英語教科書を、英語教育政策・教科書の素材・価値観の伝承等の観点から解説・分析・検討し、日本の英語教育政策への問題点を探った。

外国語コミュニケーションの情意と動機

— 研究と教育の視点 —

八島 智子 著

A5 210頁 定価 2,200円 (本体価格 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-394-9 C3082 (2004.3) ㊞

外国語を用いた異文化との出会いは、他者との対話を通して共通の意味を構築していくプロセスである。その中で自己を意識し行動レパートリーを拡張する。本書では、外国語で話すときの不安や自信、外国語学習の動機、異文化への態度や異文化接触などを扱い、異文化理解をめざす外国語教育研究への学際的アプローチを提示する。

外国語学習とコミュニケーションの心理

— 研究と教育の視点 —

八島 智子 著

A5 236頁 定価 2,200円 (本体価格 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-687-2 C3082 (2019.3) ㊞



外国語でコミュニケーションを図るというのは極めて複雑な作業である。外国語の能力だけでなく、使うときの不安や緊張、外国語学習の動機づけ、異文化への態度や国際性など、多くの要因が関わる。本書では外国語学習とコミュニケーションの心理を、応用言語学、コミュニケーション学、心理学の3分野から幅広く探求する。

17世紀フランス文法家証言集Ⅲ

— 副詞 —

伊藤 誠宏 著

※大半が欧文で記載

A5上製 358頁 定価 3,740円 (本体価格 3,400円+税)
ISBN 978-4-87354-553-0 C3085 (2013.3) ㊞



17世紀フランス文法家の副詞及び副詞表現に関する見解を収集した資料文献集。Oudin, Vaugelas など、近代フランス語の形成に寄与した人々が、どのような考えに基づいて国語を精査・洗練し、作り上げようとしていたかを、感知できると思う。また、近代フランス語の形成過程を知るのに役立てることができる、貴重な著書でもある。

17世紀フランス文法家証言集Ⅳ

— 動詞 —

伊藤 誠宏 著

※大半が欧文で記載

A5上製 402頁 定価 4,950円 (本体価格 4,500円+税)
ISBN 978-4-87354-598-1 C3085 (2015.3) ㊞



17世紀フランス文法家における動詞の形態に関する見解を収集した資料文献集。Oudin, Vaugelas など、近代フランス語の形成に寄与した人々が、どのような考えに基づいて国語を精査・洗練し、作り上げようとしていたかを、感知できると思う。また、近代フランス語の形成過程を知るのに役立てることができる、貴重な著書でもある。

17世紀フランス文法家証言集Ⅴ

— 前置詞 —

伊藤 誠宏 著

※大半が欧文で記載

A5上製 402頁 定価 4,950円 (本体価格 4,500円+税)
ISBN 978-4-87354-665-0 C3085 (2018.1) ㊞



17世紀フランス文法家の前置詞に関する見解を収集した資料文献集。Oudin, Vaugelas など近代フランス語の形成に寄与した人々が、どのような考えに基づいて国語を精査・洗練し、作り上げようとしたかを感知できると思う。また、近代フランス語の形成過程を学ぶのに役立てることができる、貴重な著書でもある。

17世紀フランス文法家証言集Ⅵ

— 代名詞 —

伊藤 誠宏 著

※大半が欧文で記載

A5上製 338頁 定価 4,950円 (本体価格 4,500円+税)
ISBN 978-4-87354-714-5 C3085 (2020.2) ㊞



17世紀フランス文法家の代名詞に関する見解を収集した資料文献集である。Oudin, Vaugelas など近代フランス語の形成に寄与した人々が、どのような考えに基づいて国語を精査・洗練し、作り上げようとしたかを感知できると思う。また、本書は近代フランス語の形成過程を学ぶのに役立つ貴重な著書でもある。

『語録解』研究

— 李氏朝鮮において中国語口語辞典は
いかに編まれたか —

玄 幸子 著

A5上製 326頁 定価 3,740円 (本体価格 3,400円+税)
ISBN 978-4-87354-547-9 C3087 (2012.3) ㊞

李氏朝鮮の激動の歴史の中で中国語口語は当時の文人に如何に捉えられたのか、恐らくは世界で最初に編まれた近代中国語口語辞典である『語録解』を通じて中国口語のありようの一端を映し出そうとする最初の試みである。初版鄭義本と改版南二星本の校録および全4種版本の収録語彙対照表などを収め今後の研究のために基礎史料を提供する。

Audience Participation in Politics

— Interactional Analysis of Political
Communication in Contemporary Japan —

池田 佳子 著

※全て欧文で記載

A5 218頁 定価 2,200円 (本体価格 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-554-7 C3080 (2013.3) ㊞

聞き手が政治家を育てる、そんな時代が日本にも到来した。聴衆は受身な存在ではない。それが一票を投じる有権者であれば、まさに聞き手次第で政治家のトークとデリバリーは変化する。本書では有権者と候補者の両者が「主体的な」相互行為の参加者となる政治コミュニケーションの諸場面を会話分析とエスノグラフィーを活用し考察している。

英語語法学をめざして

奥田 隆一 著

A5上製 332頁 定価 3,520円 (本体価格 3,200円+税)
ISBN 978-4-87354-561-5 C3082 (2013.3) ㊞

これまでの個別的な「英語語法研究」とは違い、英語の様々な語法現象をより広い観点から整理し、体系的に捉え直す「英語語法学」というものをはじめて提示。様々な英語表現を言語学・英語学的に考察し直し、体系的にどう捉えるかを、研究手法・考察のポイントなど取り上げながら、具体例を用いて紹介する。

英語教育に生かす英語語法学

奥田 隆一 著

A5上製 258頁 定価 3,080円 (本体価格 2,800円+税)
ISBN 978-4-87354-634-6 C3082 (2016.3) ㊞

英語のコミュニケーション教育が強調されるにつれて、英文法・語法が軽視され、英語を正確に理解・表現できない生徒が増えてきている。この本では、コミュニケーションにも重要な、日本人の理解しにくい英文法・英語法などについて考察し、日英語の違いと日本人が理解困難な点に配慮する英語教育の復権を、具体的な例をあげて提案する。

英語語法学の展開

奥田 隆一 著

A5上製 186頁 定価 1,980円 (本体価格 1,800円+税)
ISBN 978-4-87354-674-2 C3082 (2018.3) ㊞

現代英語に見られる興味深い語法現象を、具体例をあげながら紹介する。それらを新しい視点から大きく捉え直し、英語の用法の現状を見て行くとともに、現代英語の用法の分析に有効である新しい視点を提示する。特に、現代英語の口語表現で使用される、様々な語法現象を取り上げ、その背景にある使用理由の探求を試みた。

フランス語発音指導法入門

菊地 歌子 著

A5 206頁 定価 3,300円 (本体価格 3,000円+税)
ISBN 978-4-87354-583-5 C3085 (2014.3) ㊞

フランス語の発音指導入門書。音声学の専門知識がなくても、授業の中で発音指導ができるメソッドを解説している。本書は、説明先行ではない、口頭練習との連動により詳説した実践的指導法が特徴。また、フランス語の中・上級者が、自分の発音を基本から見直し、改善しようとする場合にも活用できる。

『馬經諺解』語彙研究

— 17世紀近代朝鮮語の語彙の宝庫 —

高 明均 著

A5上製 235頁 定価 3,300円 (本体価格 3,000円+税)
ISBN 978-4-87354-590-5 C3087 (2014.12) ㊞

17世紀近代朝鮮語の文献、『馬經諺解』の語彙に対する研究である。漢字の対訳語と相応する諺解部分を例文とともに抜粋し、漢字語を音節別に分けて整理した。さらに、対訳語を品詞・内容別に、そして語彙の語相である同義語、対立語、同音異義語と多義語、方向および位置語、身体語、色彩語などを調べた。

ポスト・ソヴィエト時代の「国家語」

— 国家建設期のキルギス共和国における言語と社会 —

小田桐 奈美 著

A5上製 280頁 定価 3,850円 (本体価格 3,500円+税)
ISBN 978-4-87354-599-8 C3087 (2015.3) ㊞

近年ヨーロッパ型の「一国家一言語」モデルの矛盾や限界が指摘されているが、旧ソ連諸国においては現在もなお「国家語」を整備・推進する過程が進行している。転換期の社会で、言語はどのような役割を果たすのか。本書では、中央アジアのキルギス共和国における言語と社会の様相を、現地調査に基づいて明らかにする。

現代中国語における情報源表出形式

— 本来の守備範囲と拡張用法 —

李 佳樑 著

A5上製 268頁 定価 3,520円 (本体価格 3,200円+税)

ISBN 978-4-87354-684-1 C3087

(2019.2) ㊞



電子
書籍
対応

本書は、孤立語である中国語も合理的に説明できるような理論的枠組みを採った上で、現代中国語における情報源表出に関連する複数の構文・機能語がどのような意味機能を持ち、如何に成立したのかという問題を考察し、中国語の情報源表出の体系を浮き彫りにしたものである。この分野の研究における必読文献と言えよう。

コミュニケーションのための 英語音声学研究

山根 繁 著

A5 256頁 定価 1,980円 (本体価格 1,800円+税)

ISBN 978-4-87354-689-6 C3082

(2019.2) ㊞



電子
書籍
対応

英語学習者のコミュニケーション能力に最も重要な要素の一つは、相手に情報を正確に伝えることである。本書は、意思伝達に必要な発音力を育成することを目的にし、さらに、大学院生、教育現場の教師、研究者が発音研究や音声指導を行うにあたり、必要不可欠な情報をまとめた実践的な指導書・研究書になっている。

ウソと欺瞞のレトリック

— ポスト・トゥルース時代の語用論 —

山本 英一 著

A5上製 180頁 定価 2,860円 (本体価格 2,600円+税)

ISBN 978-4-87354-693-3 C3082

(2019.3) ㊞



電子
書籍
対応

ポスト・トゥルースの語に象徴されるように、現代は真実と虚偽の境界が見えにくい。ウソ・欺瞞が日常化した今、背景にあるレトリックの特徴を明らかにすることが重要になっている。本書は、語用論を出発点に、誠実な発話の対極にあるウソ・欺瞞が成立する仕組みを考え、間違った解釈へと誘導される人間の性向を解き明かす。

文学

メランコリーの垂線

— ホーソンとメルヴィル —

入子 文子 著

A5上製 388頁 定価 3,850円 (本体価格 3,500円+税)
ISBN 978-4-87354-546-2 C3098 (2012.3) ㉔

本書の題名から、ホーソンとメルヴィルが共に陰鬱な思想をもった暗い人物であることを論じる伝記的内容を想像するであろう。しかし実のところは、両者の作品に漲る想像力と創作技法に共通する強烈な古典的（メランコリー）の輝線を論じ、軸となるロバート・バートンの『メランコリーの解剖』の部分訳を補遺としている。

中国文学史新著（増訂本）中巻

章培恒 駱玉明 主編／井上 泰山 後藤 裕也 共訳

B5上製 580頁 定価 7,370円 (本体価格 6,700円+税)
ISBN 978-4-87354-555-4 C3098 (2013.3) ㉔

文学の発展は人間性の発展と歩みを同じくし、文学内部の進展は形式の進展を通して体现されるとの基本的認識に立ち、古代から現代に至るまでの作品を新たな視点で分析した画期的中国文学通史。近世文学を「挫折期」「復興期」「徘徊期」「変革期」に区分して論述。文学史の常識を根本から覆す名著。本邦初訳。

日本図書館協会選定図書

中国文学史新著（増訂本）下巻

章培恒 駱玉明 主編／井上 泰山 四方 美智子 共訳

B5上製 650頁 定価 9,900円 (本体価格 9,000円+税)
ISBN 978-4-87354-573-8 C3098 (2014.3) ㉔

文学の発展は人間性の発展と歩みを同じくし、文学内部の進展は形式の進展を通して体现されるとの基本的認識に立ち、古代から現代に至るまでの作品を新たな視点で分析した画期的中国文学通史。近世文学を「挫折期」「復興期」「徘徊期」「変革期」に区分して論述。文学史の常識を根本から覆す名著。本邦初訳、上中下全巻完結。

三国志への道標

井上 泰山 著

A5 294頁 定価 1,980円 (本体価格 1,800円+税)
ISBN 978-4-87354-688-9 C3098 (2019.2) ㉔



小説『三国志演義』の世界を全15回にわたって解説した講義集。「連環の計」「赤壁の戦い」「三顧の礼」などの名場面や、「義」を基軸として展開される乱世の人間模様を多角的に分析し、その真髄に迫る。16世紀末にスペインに流出した貴重な版本についても、筆者自身の調査結果を詳細に報告し、近年までの研究史を回顧。

ヘンリー・ジェイムズ短編選集

—「オズボーンの復讐」他四編—

ヘンリー・ジェイムズ 著／李 春喜 監訳

中村 善雄 村尾 純子 共訳
四六判 252頁 定価 1,870円 (本体価格 1,700円+税)
ISBN 978-4-87354-550-9 C3097 (2012.10) ㉔

難解な作家だと言われるヘンリー・ジェイムズだが、ここに収められた作品は、いずれもジェイムズが比較的若い頃に発表したものであり、物語を読む楽しさを再発見させてくれるものばかりである。あまり語られることのなかったジェイムズのストーリー・テラーとしての一面に触れることができる英米文学研究者必読の書。

ヘンリー・ジェイムズ短編選集

—「ある年の物語」他三編—

ヘンリー・ジェイムズ 著／李 春喜 訳

四六判 326頁 定価 2,530円 (本体価格 2,300円+税)
ISBN 978-4-87354-638-4 C3097 (2016.9) ㉔



ヘンリー・ジェイムズ没後100周年記念。本邦初訳で短編四編を紹介。南北戦争を題材にした最後の未訳作品「ある年の物語」、ヨーロッパ社交界の洗礼を浴びる青年の姿を描いた「ユー・ジーン・ピカリング」、ジェイムズ作品の中で異彩を放つ「ペンヴォーリオ」、結婚と恋愛の逆説をあつかった「進むべき道」の四編を所収。

左手のための小作品集

—100のエピソード—

J・ロバート・レノン 著／李 春喜 訳

四六判 254頁 定価 2,200円 (本体価格 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-711-4 C3097 (2020.2) ㉔

本書は、現在米国で活躍中の小説家、J・ロバート・レノン著 Pieces for the Left Hand: 100 Anecdotes の全訳である。本書は全7章から構成されており、1頁から3頁程度の掌編100編が所収されている。そのほとんどが本邦初訳であるだけでなく、一冊の図書としては、J・ロバート・レノン氏を初めて日本に紹介するものである。

実践知性としての英文学研究

宇佐見 太市 著

A5上製 430頁 定価 3,850円 (本体価格 3,500円+税)
ISBN 978-4-87354-572-1 C3098 (2014.3) ㊞



日本の過去の「知」の巨人たちの思索を追い、それらを吟味・検証することによって日本の英文学研究界が抱える諸問題を刎抉し、明日の日本の英文学研究界のありようを見ようとしたのが第1部。第2部は、英文学研究を英語教育の応用篇として捉える著者の主要な思索の軌跡を振り返り、英文学研究界の活性化を模索した論考。

EMMA VOL. II

関西大学ジェイン・オースティン研究会 編著

四六判上製 390頁 定価 4,730円 (本体価格 4,300円+税)
ISBN 978-4-87354-627-8 C3097 (2016.3) ㊞

1994年関大版注訳『エマ』第I巻の刊行以来22年ぶりの注釈書第II巻。本注釈は、世界中のオースティン人気に呼応して英米で続々と刊行された『エマ』のテキスト、Penguin版、Cambridge版、Harvard版等に見る最新の知見を活かし、作品の時代的、文化的背景に関する情報を多く盛り込んだ。注は第III巻で完結。

日本における近代中国学の始まり

—漢学の革新と同時代文化交渉—

陶 徳民 著

A5 340頁 定価 2,530円 (本体価格 2,300円+税)
ISBN 978-4-87354-650-6 C3091 (2017.3) ㊞

藤澤東暎から見た銭泳『海外新書』、星野恒選・王韜評『明清八家文』；「桐城派」族譜と藤野海南・宮島大八、吉野作造・青木正児・西村碩園の五四「文学革命」観；重野安繹・青木・倉石武四郎の『漢文直読』論、内藤湖南の章学誠顕彰に影響された胡適・姚名達・張爾田など、「土着」の漢学が目指した近代的革新を活写。

スタンダーのオイコノミア

—経済の思想、ロマン主義、作家であること—

柏木 治 著

四六判上製 342頁 定価 3,300円 (本体価格 3,000円+税)
ISBN 978-4-87354-652-0 C3098 (2017.3) ㊞

19世紀前半、社会の資本主義化が進むなか、文学活動もまた市場経済と密接に関係するようになった。本書は、個人的な金銭問題から同時代の産業主義的経済思想にいたるまで、金にかかわる諸現象の総体を「オイコノミア」とみなし、スタンダーがこれにどのように向き合ったかを検討しつつ、金銭と文学活動の関係に迫る。

銀行家たちのロマン主義

—一九世紀フランスの文芸とホモ・エコノミクス—

柏木 治 著

四六判 292頁 定価 2,750円 (本体価格 2,500円+税)
ISBN 978-4-87354-703-9 C3098 (2019.3) ㊞



フランス文芸において「銀行家」がその存在感を増すようになるのは19世紀にはいつてからである。自由主義思想と古典派経済学の興隆、産業革命と資本主義経済の発達のおかげで社会は「銀行家」の表象をどのように形成していったのか。ロマン主義時代における銀行家たちの現実に照準を合わせ、彼らの文化活動の実相に迫る。

英米の絵本の窓から

—Views from the Window of Picture Books—

石原 敏子 著

A5上製 270頁 定価 2,970円 (本体価格 2,700円+税)
ISBN 978-4-87354-663-6 C3098 (2017.11) ㊞

絵本にできることは何か。外を見ると同時に中を見る、という「窓」のイメージをテーマとして、絵本が、外の世界へと読者の視点を向かわせる上に、自分の心の内を見つめる助けとなることを指摘する。さらに、絵本というメディアの豊かさを示すものとして、ABC絵本、楽譜絵本、手芸絵本というジャンルの作品を紹介する。

my little abc book

—絵本を楽しむ26文字の旅—

石原 敏子 著

B6 102頁 定価 1,100円 (本体価格 1,000円+税)
ISBN 978-4-87354-701-5 C0098 (2019.3) ㊞

絵本は、子どものためだけのものではなく、大人にとって、シンプルな言葉で書かれた哲学書である。絵本を読むことで、自分の考えを整理し、生き方を振り返ることを提案する。ABCの一字ずつ絵本を取り上げ、ちょうど子どもが読みの基本のアルファベットを学び取るように、絵本の楽しみ方の基礎を身に付けていく。

情報社会の伝統詩

鶴飼 康東 著

四六判 300頁 定価 3,080円 (本体価格 2,800円+税)
ISBN 978-4-87354-669-8 C3091 (2018.2) ㊞

情報通信技術と短歌の相互関係を分析した学術書。著者は第20回角川短歌賞を受賞した情報経済学者である。文理融合分野ソシオネットワーク戦略を創出した。第1部で情報通信技術の短歌への影響を叙事詩の観点から考察し、第2部で純粹抒情詩の立場から象徴主義短歌を批判、第3部に著者の代表的文藝評論を収録している。

杜甫詩文集の形成に関する 文献学的研究

長谷部 剛 著

A5 296頁 定価 2,310円 (本体価格 2,100円+税)
ISBN 978-4-87354-694-0 C3098

(2019.3) ㊞



中国最大の詩人、杜甫の詩文集については、その死後300年を経て成立した『宋本杜工部集』が現存する唯一完全なテキストであり、杜甫詩人の自筆テキストは現存しない。本書は中国文献学の知見・研究手法を取り入れ、「杜甫生前、そして死後、彼のテキストはどのように筆写され流通したのか」という問題についてその解明を試みたものである。

ダニエル・デフォー研究

干井 洋一 著

A5上製 246頁 定価 3,850円 (本体価格 3,500円+税)
ISBN 978-4-87354-709-1 C3098

(2019.12) ㊞



英国小説の誕生に欠かせない役割を果たしたダニエル・デフォー。彼が取り組んだテーマは多岐に亘っており、小説だけでなく政治や経済に関する著作も出している。本書はデフォー・カノン問題を踏まえつつ、文学理論を援用しながら、英国小説黎明期の作家ダニエル・デフォーを多角的に考察した研究書である。

チロルの悲劇

— アンドレーアス・ホーファー —

カール・インマーマン 著

宇佐美 幸彦 酒井 友里 共訳

A5 272頁 定価 3,410円 (本体価格 3,100円+税)
ISBN 978-4-87354-710-7 C3098

(2019.12) ㊞



1809年、世界最強のナポレオン軍がチロルに進軍してくる。チロル民衆の英雄ホーファー率いる農民軍は、岩石落としたり山岳地帯特有の戦法で祖国防衛の戦いに勝利した。だがナポレオン軍にウィーンまで攻め込まれたオーストリア皇帝は講和を結び、チロルを放棄する。チロル農民軍の勇敢な戦いと悲劇的結末を扱った作品。

サラ・ブジョル・ラッセル詩集

— 肉体の下でのフィンセント —

サラ・ブジョル・ラッセル 著

イバン・ディアス・サンチョ 鼓宗 編訳

A5 186頁 定価 2,530円 (本体価格 2,300円+税)
ISBN 978-4-87354-716-9 C3098

(2020.3) ㊞



「詩は互いに滋養を分け合う」—言葉が放つ光の彫金師、カタルーニャの女性詩人サラ・ブジョル・ラッセルの選詩集。ゴッホから靈感を得た表題作のほか、「月の孤独」、「愛、渴望の深さ」など、2019年出版の最新詩集所収の3編を含む4冊の詩集から33編を収載。ディアス・サンチョによる解題を併録。日西2ヶ国語版。

関西大学東西学術研究所出版図書

関西大学東西学術研究所研究叢刊36

ソグド人の東方活動と 東ユーラシア世界の歴史的展開

森部 豊 著

A5上製 396頁 定価4,180円 (本体価格3,800円+税)
ISBN 978-4-87354-492-2 C3022 (2010.3)

本書は、中央アジア史研究を代表する成果の先鞭として注目される。遊牧文化の影響を受けて武人化したソグド人の東ユーラシア世界（北アジア・中国）での活動を解明。7世紀から10世紀の東ユーラシア世界の歴史に、密接に関わっていたことを、編纂資料や新出の石刻史料を駆使して明らかにしたものである。

関西大学東西学術研究所研究叢刊38

文化交渉学と言語接触 — 中国言語学における周縁からのアプローチ —

内田 慶市 著

A5上製 364頁 定価4,400円 (本体価格4,000円+税)
ISBN 978-4-87354-502-8 C3087 (2010.9)

「文化交渉学」という新しい学問体系の枠組みの中から、中国語学研究を捉え直そうとした意欲的な試み。「周縁からのアプローチ」という筆者がこれまで主張してきた方法に基づき、西学東漸と言語接触、欧米人の中国語研究の可能性等々を中心に、さらに「図像」から文化交渉の様々な事象を見るという斬新な内容も含まれている。

関西大学東西学術研究所研究叢刊40

清代中国琉球交渉史の研究

松浦 章 著

A5上製 444頁 定価4,620円 (本体価格4,200円+税)
ISBN 978-4-87354-527-1 C3022 (2011.10)

清朝中国と琉球国とは朝貢関係にあった。その制約での交渉史がどのように展開されたかについて述べる。特に中国使節と琉球使節の派遣と往来、中国で客死した琉球使節の問題、両国の漂着船への対応、朝貢貿易により琉球国にもたらされた中国産品の産地や、中国からの産品の琉球での流通等、主に清朝檔案資料を使い述べる。

関西大学東西学術研究所研究叢刊41

豊饒なる明治

井上 克人 編著

A5上製 284頁 定価3,740円 (本体価格3,400円+税)
ISBN 978-4-87354-533-2 C3010 (2012.1)

明治の世には、西欧的近代化の流れの中にあっても「日本人としての矜持と風格」といったものがあった。それはいわば凜乎とした倫理意識と、土着的な共同体意識である。それらは漢籍の教養に裏打ちされた至高なる精神性であったと言ってもよい。明治は、思想・文化の面において、日本の精神史上、「豊饒の時代」であった。

関西大学東西学術研究所研究叢刊42

日本と琉球の歴史景観と地理思想

高橋 誠一 著

B5上製 368頁 定価6,050円 (本体価格5,500円+税)
ISBN 978-4-87354-549-3 C3025 (2012.10)

琉球は、古代以来、日本文化の影響下におかれてきたというのが一般的理解である。しかし、歴史景観に潜んでいる地理思想を分析すれば、これはある意味では作為的なミスリードであったことがわかる。本書では、集落形態、道路網、龍の存在、魔除けの標識、天妃信仰などのフィールド調査を通じて、相互の多面的な交流を検討する。

関西大学東西学術研究所研究叢刊43

日本を愛したドイツ人 フリッツ・ルンプと伊勢物語版本

山本 登朗 編著

A5上製 396頁 定価4,400円 (本体価格4,000円+税)
ISBN 978-4-87354-567-7 C3093 (2013.3)

パンの会でも活躍した異色のドイツ人、フリッツ・ルンプは、版画家であるとともに日本美術についてすぐれた著作を数多く出版しているが、ドイツ語で書かれているため知られることがなかった。本書は、『伊勢物語』版本について詳細に研究した彼の代表的著作を翻訳し、多岐にわたる業績や波乱に満ちた生涯を紹介する。

関西大学東西学術研究所研究叢刊44

近世東アジア海域の帆船と文化交渉

松浦 章 著

A5上製 486頁 定価4,950円 (本体価格4,500円+税)
ISBN 978-4-87354-569-1 C3022 (2013.10)

近世東アジア海域で活動していた帆船、特に積極的に海洋進出を行った中国帆船、和船などの航運、特にアジア海域諸国に漂着し、どのように言語接触がされたか。日本人が見たマカオや漂流民の送還、砂糖・書籍・海産物の貿易による中国と日本の関係、薩摩と琉球との海運、下関の帆船航運としての地位、中国帆船のベトナム貿易などを述べる。

関西大学東西学術研究所研究叢刊45

住まいと集落が語る風土

— 日本・琉球・朝鮮 —

森 隆男 編著

A5上製 336頁 定価 4,620円 (本体価格 4,200円+税)
ISBN 978-4-87354-578-3 C3039 (2014.3)

関西大学東西学術研究所研究叢刊46

日本古代中世の仏教と東アジア

原田 正俊 編著

A5 356頁 定価 4,400円 (本体価格 4,000円+税)
ISBN 978-4-87354-579-0 C3021 (2014.3)

関西大学東西学術研究所研究叢刊47

越境の映画史

堀 潤之 菅原 慶乃 編著

四六判上製 272頁 定価 2,750円 (本体価格 2,500円+税)
ISBN 978-4-87354-580-6 C3074 (2014.3)

関西大学東西学術研究所研究叢刊48

1955年「アジア諸国会議」とその周辺

— 火野葦平インド紀行 —

増田 周子 著

A5上製 294頁 定価 3,300円 (本体価格 3,000円+税)
ISBN 978-4-87354-584-4 C3090 (2014.5)

関西大学東西学術研究所研究叢刊49

近代東アジア海域の人と船

— 経済交流と文化交渉 —

松浦 章 著

A5上製 428頁 定価 4,400円 (本体価格 4,000円+税)
ISBN 978-4-87354-589-9 C3022 (2014.12)

関西大学東西学術研究所研究叢刊50

〈時〉と〈鏡〉超越的覆蔵性の哲学

— 道元・西田・大拙・ハイデガーの思索をめぐって —

井上 克人 著

A5上製 476頁 定価 4,950円 (本体価格 4,500円+税)
ISBN 978-4-87354-600-1 C3010 (2015.3)

関西大学東西学術研究所研究叢刊51

東アジア言語接触の研究

沈 国威 内田 慶市 編著

A5上製 448頁 定価 4,400円 (本体価格 4,000円+税)
ISBN 978-4-87354-622-3 C3087 (2016.2)

関西大学東西学術研究所研究叢刊52

文化交渉学のパースペクティブ

— ICIS国際シンポジウム論文集 —

吾妻 重二 編著

A5上製 486頁 定価 4,730円 (本体価格 4,300円+税)
ISBN 978-4-87354-637-7 C3020 (2016.8)

本書は日本と南西諸島、朝鮮半島をフィールドに、住まいや集落の構造、景観などに関する調査・研究の成果をまとめたものである。研究グループには民俗学・地理学・建築学の研究者が参加し、研究に当たってはこれらの地域で展開された文化交流などの歴史を視野に入れて比較する視点が共有された。

日本古代中世の仏教と東アジア仏教の歴史を交流・伝播と変容の視点から共同研究した成果論文集。東部ユーラシアにおける五臺山信仰の展開と王権、生身釈迦像信仰と王朝の正統性、僧伝のなかの出家因縁の分析、日本古代の空海密教の受容、入宋僧裔然の伝記の考証、中世禪宗の伝法観など諸論点から東アジアの仏教史を考察。

時期的には初期映画の時代から1960年代半ばまでおよび、地理的にはヨーロッパ（フランス、ドイツ、帝政ロシア）、アジア（日本、上海、香港、マレー半島）、そしてアメリカに関わる、東西の映画史における「越境」の6つのケース・スタディを通じて、ナショナルな枠組みを乗り越えた映画史を構想する。

世界をとりまく国際緊張の緩和を目的として、ラメシワリ・ネル夫人の提案のもと1955年4月に14ヶ国200人が集結しデリーで開催された「アジア諸国会議」の全容を記し、作家火野葦平が見た当時のインド芸術、風土、文化状況などを記した書。半世紀を超えてアジアの平和と連帯の精神が、今、浮かび上がる。

近代東アジア海域の人的、物的交流に関する視点から、経済交流の側面から解明を試みる。とくに19世紀後半の中国を中心とする帆船、汽船の航運活動による物流や20世紀初期における華僑の神戸における活動、19世紀末から20世紀前半における日本と中国や台湾との航路を往来した日本汽船の活動を通して東アジアの文化交渉の視点から述べる。

本書は、前者「露源と覆蔵——現象学から宗教哲学へ」の続編である。道元の禅思想にみる存在論、西田幾多郎の〈絶対無〉と〈逆対応〉の論理、鈴木大拙が説く〈即非〉の論理、そしてハイデガーの〈有〉と〈時〉をめぐる思索それぞれに通底するものを探り、それを「超越的覆蔵性」という著者独自の視点から読み解いた哲学的洞察の書。

漢字、特に近代以降の漢字新語、訳語の創出、普及に関する最新研究。翻訳論、文体論から漢字訳語の造語法、新漢語の語構成、「牛津」「劍橋」「恋愛」「難民」などの個別語誌まで多角度からアプローチし、近代語形成の諸問題を漢字文化圏における言語接触・語彙交流というバックグラウンドにおいて考察する論文集である。

東アジアにおける文化の形成、展開、相互交渉の様相をダイナミックにとらえ、文化交渉学の展望を探る東西学術研究所ICISの国際シンポジウム論文集。言語接触研究班、近世近代日中文化交渉研究班、東アジア宗教儀礼研究班のICIS三研究班のメンバー、および海外の研究者による論文16点を取める。文化交渉学の新たな成果。

関西大学東西学術研究所研究叢刊53

The Cultural Interaction of East Asia Seas in the Early Modern

松浦 章 編著

※全て欧文で記載

A5上製 240頁 定価3,520円(本体価格3,200円+税)

ISBN 978-4-87354-642-1 C3022

(2016.11)

関西大学東西学術研究所研究叢刊54

From Medieval to Modern

—Aspects of the Western Literary Tradition—

和田 葉子 編著

※約半数が欧文で記載

A5 212頁 定価2,200円(本体価格2,000円+税)

ISBN 978-4-87354-653-7 C3098

(2017.3)

関西大学東西学術研究所研究叢刊55

聖心のイコノロジー

—宗教改革前後まで—

蜷川 順子 著

A5 334頁 定価5,280円(本体価格4,800円+税)

ISBN 978-4-87354-655-1 C3071

(2017.3)

関西大学東西学術研究所研究叢刊56

泊園書院と漢学・大阪・近代日本の水脈

—関西大学創立130周年記念泊園書院シンポジウム論文集—

吾妻 重二 編著

A5上製 250頁 定価3,520円(本体価格3,200円+税)

ISBN 978-4-87354-662-9 C3021

(2017.8)

関西大学東西学術研究所研究叢刊57

西教東漸と中日事情

—拝礼・尊厳・信念をめぐる文化交渉—

陶 徳民 著

A5 376頁 定価3,960円(本体価格3,600円+税)

ISBN 978-4-87354-700-8 C3020

(2019.3)

関西大学東西学術研究所研究叢刊58

近世東アジアにおける口語中国語文の研究

—中国・朝鮮・日本—

奥村 佳代子 著

A5 378頁 定価2,310円(本体価格2,100円+税)

ISBN 978-4-87354-699-5 C3087

(2019.3)

関西大学東西学術研究所研究叢刊59

東西学術研究と文化交渉

—石濱純太郎没後50年記念国際シンポジウム論文集—

吾妻 重二 編著

A5上製 512頁 定価6,270円(本体価格5,700円+税)

ISBN 978-4-87354-708-4 C3021

(2019.11)



関西大学東西学術研究所研究叢刊60

東南アジアの華人廟と文化交渉

二階堂 善弘 著

A5 146頁 定価2,640円(本体価格2,400円+税)

ISBN 978-4-87354-713-8 C3014

(2020.2)



近世東アジア海域において朝鮮王朝、江戸幕府は“鎖国”的な政策を堅持したため、海外への船舶の進出はほとんど見られなかった。しかし中国帆船は積極的に海外に進出し、取りわけ中国帆船は“鎖国”下の日本へ恒常的に来航し、日中文化交流に貢献した。本書はその一端に関する論考と、中国帆船の東南アジア海域への進出などの論考を収める。

中世初期から現代に至る、欧米の諸地域で生まれたラテン語、英語、スペイン語、ロシア語、フランス語による西洋文学の作品は、それぞれ独自の社会的、政治的、宗教的状況と深い関わりを持っている。そのような中で、これらの文学がどのような異文化の影響を受け、その結果がどのようにテキストに表れているのかを考察する。

キリスト教世界で広く見られる聖心図像の起源と展開とを、世俗世界のハート形と比較しながら中世から近世にかけてのヨーロッパの文化、宗教、民俗事情などに探り、シスマ終結を機に公会議で定められた、パンとぶどう酒のそれぞれがもう一方の聖体を含むとする二種併存説に、積極的な図像展開の理由があったことを論じる。

関西大学の知的ルーツの一つとなった大阪の私塾、泊園(はくえん)書院。江戸後期から明治・大正・昭和へと続くその知的伝統を、学問や芸術、門人、人脈の軌跡をめぐって論じ、漢学・大阪・近代日本とのかかわりを照射する。関西大学創立130周年を記念して開かれたシンポジウムの論文8点を収める。最新の研究成果。

清の典礼問題から明治末の三教会同までの東西宗教交渉史を、ローマ教皇と康熙帝、S・W・ウィリアムズとW・A・P・マーティン、王韬とJ・レグ、中村敬宇と井上哲次郎、栗田寛と井上毅、藤澤南岳と西園寺公望、チェンバレンと小泉八雲、内藤湖南とトムソンなど複数の関係人物に対する研究と関連画像146点にて活写。

中国、朝鮮、日本には、それぞれ話し言葉として記述された資料群がある。話されたように書くことが意識された中国語とは、どのような特徴を持ち、また資料によってどのような違いが見られるのだろうか。唐通事の会話テキスト、中国档案資料の供述書、備辺司の間情別單等の資料を用い、話し言葉と書き言葉の境界を考察する。

近代東洋学のパイオニアとして言語学や敦煌学、チベット学、大阪文化研究などに大きな足跡を残した石濱純太郎は関西大学の中国学・東西学術研究発展の礎を築いた功労者でもあった。2018年はその没後50年にあたるところから国際シンポジウムを開催した。国内外19篇の論考を収め、石濱の足跡と貢献を明らかにする。

世界中にチャイナタウンが存在し、華人文化が広がっている。本書は東南アジアのシンガポールとマレーシアを中心に、華人たちの民間信仰や道教、習合の状況を現地調査に基づき報告する。また、バトナム・タイ・フィリピンにあるチャイナタウンの廟の状況についても報告。様々な宗教文化が交錯する現象を、文化交渉の視点から追う。

関西大学東西学術研究所研究叢刊61

風景論

— 東アジアから見る・読む・考える —

中谷 伸生 編著

A5上製 348頁 定価 5,170円 (本体価格 4,700円+税)
ISBN 978-4-87354-721-3 C3071 (2020.3)

関西大学東西学術研究所研究叢刊62

西土與近代中國：羅伯聃研究論集

— ロバート・トーム研究 (研究と影印) —

沈 国威 編著

A5上製 314頁 定価 5,060円 (本体価格 4,600円+税)
ISBN 978-4-87354-722-0 C3022 (2020.3)

関西大学東西学術研究所研究叢刊63

松陰とペリー

— 下田密航をめぐる多言語的考察 —

陶 徳民 著

B5 162頁 定価 4,620円 (本体価格 4,200円+税)
ISBN 978-4-87354-723-7 C3021 (2020.3)

関西大学東西学術研究所訳注シリーズ12-1

参天台五臺山記 上

藤善 眞澄 訳注

A5上製 538頁 定価 5,500円 (本体価格 5,000円+税)
ISBN 978-4-87354-449-6 C3022 (2007.11)

関西大学東西学術研究所訳注シリーズ14

東西文化の翻訳

— 「聖像画」における中国同化のみちすじ —

内田 慶市 柏木 治 編訳

A5上製 434頁 定価 3,740円 (本体価格 3,400円+税)
ISBN 978-4-87354-535-6 C3016 (2012.3)

関西大学東西学術研究所訳注シリーズ15

マニフェスト

— ダダからクレアシオニスムへ —

ビセンテ・ウイドプロ 著／鼓 宗 訳

A5上製 186頁 定価 2,750円 (本体価格 2,500円+税)
ISBN 978-4-87354-562-2 C3097 (2013.3)

関西大学東西学術研究所訳注シリーズ16

聖なるものをめぐる哲学

ミルチャ・エリアーデ

マルセリーノ・アヒース＝ビリャベルデ 著／平田 渡 訳

A5上製 374頁 定価 3,740円 (本体価格 3,400円+税)
ISBN 978-4-87354-563-9 C3014 (2013.3)

関西大学東西学術研究所訳注シリーズ17

クレアシオニスムの詩学

— ラテンアメリカのアヴァンギャルド —

ビセンテ・ウイドプロ 著／鼓 宗 編訳

A5上製 290頁 定価 3,300円 (本体価格 3,000円+税)
ISBN 978-4-87354-609-4 C3098 (2015.3)

風景とは何か、という問題設定の下、日本美術を中心に、西洋美術や日本史や宗教学の論考を収録して、若手研究者たちによる斬新な研究を紹介する。これらの論考は「東アジア」という視点から考察されたものである。絵画史が多くを占めているが、近年、関心をもたれつつある多様な「風景画」をめぐる論攷となっている。

1834年来華したイギリス人口バート・トーム (羅伯聃) が、イソップ寓話を中国語に翻訳したり、中国語と英語の学習書を執筆したりする文化活動だけではなく、アヘン戦争中、外交官としても活躍した。本書は、翻訳史、中国語・英語学習史、外交史の角度から当時の貴重資料を用いてロバート・トームの人間像と貢献に迫る。

開国初期の下田湾で演出された日米交渉のドラマを、米側の一次史料と約60点の貴重画像を用いて活写。松陰の旗艦滞留時間の特定、下田獄中の嘆願書の解説、ペリーが行った人道的介入の事実確認など重要な発見を満載。近代東西文化交流の視野から、日・中・英三言語を駆使して「心が動いた」歴史的瞬間をキャッチした意欲作。

1072年、巡礼のため海を渡った京都岩倉の大雲寺主であり、平等院の護持僧を務めた成尋の旅行記に訳注を加えたもの。佐賀県の加部島を出て杭州に上陸し、天台山を巡拝したのち五臺山に向かい、各地の名刹に参詣しながら大運河を北上して長江を渡り、さらに大運河を溯って宋都開封に達するまでの訳注四巻である。

イエズス会の宣教師たちは、キリスト教を中国に伝えるとき、相手方の文化に身を置くという方法を採用した。その具体的な事例として、「聖像画」の中国化がある。本書は、この問題を扱ったデリアのイタリア語原書からの本邦初訳である。なお、ナダールの原画とアレニ、ローチャの中国化されたものも影印して収録した。

ダダ、シュルレアリスムと時代を共有する前衛の詩学クレアシオニスムの宣言集。ビセンテ・ウイドプロ (1893-1948) は実験的長詩『アルタソル』によってラテンアメリカ文学史に名を刻みチリの詩人。1910年代後半からパリで活躍。アポリネール、ツァラ、ブルトン、ルヴェルディ、ピカソ、ピカビアといった人々と交流があった。

ポール・リクールの薫陶をうけた、若手実力派のスペイン人哲学者による、エリアーデの思想と方法論をめぐる学問史の試み。アルカイック期の宗教的な人間について、〈聖なるものの弁証法〉と〈宗教的シンボリズム〉が中心的な役割を果たす、現象学的方法論によって真相が解き明かされる。恰好のエリアーデの入門書。

クレアシオニスムは、チリの詩人ビセンテ・ウイドプロがダダや超現実主義と拮抗すべく唱えた前衛主義の美学。ルヴェルディ、ブルトン、ブニエールとの論争を生み、若きボルヘスが傾倒したスペインの前衛運動ウルトライスム誕生の契機となった。本書には、初期から晩年までの詩論、宣言、インタビュー、詩編を採録した。

関西大学東西学術研究所訳注シリーズ18

神話から神化へ

— 中国民間宗教における神仏観

劉 雄峰 著／二階堂 善弘 監訳

A5 228頁 定価 3,190円 (本体価格 2,900円＋税)
ISBN 978-4-87354-618-6 C3014 (2015.12)

関西大学東西学術研究所訳注シリーズ19

えも言われぬ美しさの、きらびやかにして、永遠なる サーカス

ラモン・ゴメス・デ・ラ・セルナ 著／平田 渡 訳

A5上製 544頁 定価 4,730円 (本体価格 4,300円＋税)
ISBN 978-4-87354-628-5 C3097 (2016.3)

関西大学東西学術研究所訳注シリーズ20

コスタリカ選詩集一緑の祈り

カルロス・フランシスコ・モンヘ 編／鼓 宗 訳

A5上製 254頁 定価 3,080円 (本体価格 2,800円＋税)
ISBN 978-4-87354-698-8 C3098 (2019.3)

関西大学東西学術研究所資料集刊9-6

長崎唐館図集成

— 近世日中交渉史料集六 —

大庭 脩 編著

A4 254頁 定価 14,850円 (本体価格 13,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-383-3 C3021 (2003.11)

関西大学東西学術研究所資料集刊13-10

天保七年薩摩片浦南京船金全勝號資料

— 江戸時代漂着唐船資料集十一 —

松浦 章 編著

A5 382頁 定価 3,740円 (本体価格 3,400円＋税)
ISBN 978-4-87354-666-7 C3021 (2018.2)

関西大学東西学術研究所資料集刊26

内藤湖南と清人書画

— 関西大学図書館内藤文庫所蔵品集 —

陶 徳民 編著

A4 244頁 定価 6,050円 (本体価格 5,500円＋税)
ISBN 978-4-87354-479-3 C3071 (2009.3)

関西大学東西学術研究所資料集刊27-2

家礼文献集成 日本篇 二

吾妻 重二 編著

B5函入 314頁 定価 4,620円 (本体価格 4,200円＋税)
ISBN 978-4-87354-559-2 C3014 (2013.3)

関西大学東西学術研究所資料集刊27-3

家礼文献集成 日本篇 三

吾妻 重二 編著

B5函入 354頁 定価 5,720円 (本体価格 5,200円＋税)
ISBN 978-4-87354-604-9 C3014 (2015.3)

人びとの宗教についての認識は、ますます深まっている。中国の明清時代には、宝巻を信仰の中心にする民間宗教が次々に興った。これまで、歴史的な研究が多かった民間宗教を、その信仰理論面から考察したものが本書である。神仏系譜、神話理論、救済観念、倫理思想の4つに分類し、宗教的意義を新たに検討した。

サーカス(番記者)を自認するスペイン前衛派作家、ラモンが書き留めた、はらはらどきどきの、空中ブランコや綱渡り、曲馬の高度な技、そして観客に笑いをふりまき、心をなごませる道化師の練達の芸。ペル・エボックのバリとマドリッドに花開いたサーカス文化の、馥郁たる薫りがただろう。文化人類学的に評価の高い作品。

自然豊かな平和国家として名高い中米の楽園、コスタリカ。本書は同国を代表する現代詩人の一人が編んだアンソロジーである。グリーオの影響色濃いモデルニスムの詩に始まり、フェミニズムやディスコミュニケーションなど、多様な主題と格闘する今日の作品にまで至る、かの国の詩人たちが記してきた詩の100年の軌跡をたどる。

長崎市立博物館・神戸市立博物館・ビーボディ・エセックス博物館など国内外から集めた長崎唐館図の集大成がはじめて実現。A4判140頁におよぶフルカラーの図版はまるで空から唐人屋敷内を覗き込むようである。日中交渉史に生涯捧げた故大庭脩教授の絶筆をはじめ4編の論説とともに図版解説、英文解説が読者の便宜を図っている。

1836(天保7)年正月に、現在の鹿児島県の片浦に漂着した中国から長崎への貿易船金全勝号の、約40年にわたる中日間を往来した記録を収録。特に、金全勝号が文化年間初期に長崎来航を確認できる繪圖『長崎遊覧圖繪』全巻の影印と研究編の『唐船金全勝号の来日とその時代』は、『唐船』金全勝号の航跡について述べる。

稀少価値の高い戴震・章学誠の書蹟、値がつけられない王闿運・趙爾巽・肅親王・徐世昌・湯寿潜・葉德輝・陳宝琛・傅增湘・羅振玉・鄭孝胥からの贈物。程瑤田・黄易の絵画、胡公寿・張熊・任伯年の合作扇面。ラストエンペラー溥儀の親筆による挽幛。収蔵品の数々が内藤の趣味と人脈の絶好な写照。内藤の清朝書画論(和文・年代順)も収録。

大和田気求『大和家礼』は江戸時代初期、朱熹『家礼』の全文を和文に翻訳した貴重な成果であるといえる。大和田は当時の朱子学ブームに乗って本書を撰述し、反響を呼んだ。ここでは『大和家礼』の全文を翻刻し、解説をつける。『家礼文献集成 日本篇一』〔2010年3月既刊〕に続く儒教儀礼の研究成果。

朱熹(朱子)の『家礼』の冠婚葬祭儀礼は中国のみならず、韓国・朝鮮・琉球・ベトナム・日本に大きな影響をもたらした。本書は『家礼』シリーズ日本篇一および二に続く成果。朱舜水『朱氏談綺』、徳川光圀の儒式辨儀記録、『喪祭儀略』、『喪礼略私注』、『喪祭式』など水戸学における儒礼関連文献を収録する。詳細な解説を付す。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-4

家礼文献集成 日本篇 四

吾妻 重二 編著

B5並入 300頁 定価4,950円(本体価格4,500円+税)
ISBN 978-4-87354-605-6 C3014 (2015.3)

本シリーズ日本篇三に続く成果。江戸時代初期、朱子学の受容に大きな役割を果たした中村惕斎およびその門人増田立軒の『家礼』関連著作を影印、収載する。すなわち中村惕斎『慎終疏節通考』『追遠疏節通考』、増田立軒『慎終疏節聞録』『追遠疏節聞録』の四書。いずれも儒教儀礼研究の貴重資料となっている。解説つき。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-5

家礼文献集成 日本篇 五

吾妻 重二 編著

B5上製 382頁 定価4,730円(本体価格4,300円+税)
ISBN 978-4-87354-625-4 C3014 (2016.3)

日本における朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第5冊。藤井懶斎『二礼童覽』、熊沢蕃山『葬祭弁論』、和刻本『居家必用事類全集』乙集の家礼部分、室鳩巢『文公家礼通考』、新井白石『家礼儀節考』、猪飼敬所『文公家礼儀節正誤』、岡山藩の関連文献二種を影印・翻刻する。いずれも儒教儀礼の貴重資料。詳細な解説を付す。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-6

家礼文献集成 日本篇 六

吾妻 重二 編著

B5上製 358頁 定価4,730円(本体価格4,300円+税)
ISBN 978-4-87354-626-1 C3014 (2016.3)

朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第6冊。江戸時代に刊行された『家礼』関係の刻本三種を収める。浅見綱斎点『家礼』5巻・図1巻、『文公家礼儀節』8巻、小出永安点『新刻性理大全』家礼部分4巻。いずれも広く読まれたテキストとして影響が大きい。中国刊本(底本)の考察など書誌学上の詳細な解説を付す。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-7

家礼文献集成 日本篇 七

吾妻 重二 編著

B5上製 384頁 定価5,720円(本体価格5,200円+税)
ISBN 978-4-87354-672-8 C3014 (2018.3)

朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第7冊。古学系として荻生徂徠、伊藤東涯および東峯、朱子学系として中井塾庵および竹山・履軒、陽明学系として三輪執斎と佐藤一斎、考証学系として津阪東陽、松崎謙堂、朝川善庵、洋学系として佐久間象山、そして有職故実家による諸著作を収める。詳細な解説つき。儀礼史上の重要文献。

関西大学東西学術研究所資料集刊27-8

家礼文献集成 日本篇 八

吾妻 重二 編著

B5上製 368頁 定価4,950円(本体価格4,500円+税)
ISBN 978-4-87354-691-9 C3014 (2019.3)

朱子『家礼』関連文献影印シリーズの第8冊。林鳳岡・人見竹洞・木下順庵『服制合編』、中村てき斎『親尊服義』、伊藤東涯『釈親考』、村士玉水『二礼儀略』、池田草庵『喪祭略儀』を輯集、影印する。「冠婚葬祭」の儒教儀礼のうち、葬祭(喪祭)に関する重要文献の数々。詳細な目次と解説を附する。

関西大学東西学術研究所資料集刊29-2

泊園文庫印譜集

— 泊園書院資料集成 二 —

吾妻 重二 編著

B5上製函入 202頁 定価6,600円(本体価格6,000円+税)
ISBN 978-4-87354-564-6 C3021 (2013.3)

関西大学「泊園文庫」所蔵の印章172点をすべて紹介する。泊園書院の院主藤澤南岳(ふじさわ・なんがく)が所持したコレクション。円山大迂、阿部鎌洲、羽倉可亭ら、幕末から明治・大正期に活躍した名家の篆刻を多く含み、芸術的価値が高い。写真・拓本多数。『泊園書院歴史資料集—泊園書院資料集成—』〔2010年10月既刊〕に続く成果。

関西大学東西学術研究所資料集刊29-3

新聞「泊園」

— 泊園書院資料集成 三 —

吾妻 重二 編著

B4上製函入 444頁 定価9,350円(本体価格8,500円+税)
ISBN 978-4-87354-647-6 C3021 (2017.3)

大阪を代表する私塾であり、関西大学の知的ルーツの一つとなった泊園書院の新聞を影印。1927(昭和2)年から1943(昭和18)年まで藤澤黄坡と石濱純太郎を中心として刊行されたその全77号を原寸大で掲載し、詳細な「記事名・執筆者一覧」「人名索引」、「解説」を附す。泊園書院とその学問・人脈、近代漢学、大阪文芸の貴重な資料。

関西大学東西学術研究所資料集刊33

大正癸丑蘭亭会への懷古と継承 — 関西大学図書館内藤文庫所蔵品を中心に —

陶 徳民 編

A4 292頁 定価7,260円(本体価格6,600円+税)
ISBN 978-4-87354-566-0 C3070 (2013.3)

文化交渉学の視点から1913年日中蘭亭会関連文献と画像を検証した意欲作。岸田雨臣・高瀬惺軒の蘭亭紀行、『書苑』の東京蘭亭修禊記念會記事、梁啓超編『癸丑觀集詩』、長尾雨山・神田喜一郎・須田淳一・杉村邦彦・陳振濂の論考、内藤の書論(漢文・年代順)、王羲之研究文獻目録のほか、西泠印社と台湾・香港・韓国の関連画像も収録。

関西大学東西学術研究所資料集刊34

内藤湖南 敦煌遺書調査記録

玄 幸子 高田 時雄 編著

A5上製 500頁 定価5,500円(本体価格5,000円+税)
ISBN 978-4-87354-592-9 C3022 (2015.1)

関西大学東西学術研究所資料集刊35

関西大学長澤文庫蔵琉球官話課本集

内田 慶市 編著

B5上製 374頁 定価7,150円(本体価格6,500円+税)
ISBN 978-4-87354-606-3 C3087 (2015.3)

関西大学東西学術研究所資料集刊37

重野安繹やすつぐにおける外交・漢文と国史 —大阪大学懷徳堂文庫西村天因旧蔵写本三種—

陶 徳民 編著

A4上製 258頁 定価6,600円(本体価格6,000円+税)
ISBN 978-4-87354-608-7 C3021 (2015.3)

関西大学東西学術研究所資料集刊38

日本台湾統治時代のジャンク型帆船資料 —中国式帆船のアーカイヴズ—

松浦 章 編著

A4 366頁 定価4,180円(本体価格3,800円+税)
ISBN 978-4-87354-617-9 C3037 (2015.10)

関西大学東西学術研究所資料集刊39

吉田松陰と佐久間象山 —開国初期の海外事情探索者たち(Ⅰ)—

陶 徳民 編著

A4 288頁 定価4,730円(本体価格4,300円+税)
ISBN 978-4-87354-630-8 C3021 (2016.3)

関西大学東西学術研究所資料集刊39-2

平山省齋と岩瀬忠震 —開国初期の海外事情探索者たち(Ⅱ)—

陶 徳民 編著

A4 404頁 定価6,600円(本体価格6,000円+税)
ISBN 978-4-87354-676-6 C3021 (2018.3)

関西大学東西学術研究所資料集刊40-1

北京官話全編の研究(上巻) —付影印・語彙索引—

内田 慶市 編

B5上製 756頁 定価7,810円(本体価格7,100円+税)
ISBN 978-4-87354-644-5 C3087 (2017.2)

関西大学東西学術研究所資料集刊40-2

北京官話全編の研究(中巻) —付影印・語彙索引—

内田 慶市 編

B5上製 760頁 定価7,810円(本体価格7,100円+税)
ISBN 978-4-87354-658-2 C3087 (2017.5)

関西大学図書館内藤文庫の中から、湖南はじめ5名の京都大学教官が1910(明治43)年9月に北京で行った敦煌遺書調査記録「清國學部所藏敦煌石室寫經繙閲目錄」および湖南が欧州調査のために抄写した董康「敦煌莫高窟藏書録」の原稿(墨書と鉛筆書二種)を影印し校録を附したもので、内藤湖南の敦煌学を知るための基本資料である。

琉球官話資料はこれまでもいくつか出版されてきているが、この関西大学図書館長澤文庫所蔵本4種(『終有報』『百姓話』『学官話』『中国語会話文例集』)は本邦初のものである。特に『中国語会話文例集』は恐らく明代のもので琉球官話課本としては最も古いものであろう。影印とテキスト翻刻のほか、4篇の論考を付す。

昌平覺で「天下の才子」の名声を博した詩文掛、薩英交渉で知性と胆力を示したサムライ外交家。近代日本の文学博士第一号、東京帝国大学史学会の創始者、帝国学科学院の幹事。そのような大家の原像を知る手掛かりとなる秘蔵の写本三種(『横濱應接記』、『漢文講義』、『大日本歴史略説』とその英訳本)および貴重な図版31点。

日清戦争後の1895年以降からおよそ半世紀にわたって、日本が台湾を統治すると、伝統的な中国式帆船いわゆるジャンク型帆船にも船籍の登録が必要となり、多くの台湾の船舶が台湾総督府に船籍登録している。その記録の一部が、旧台湾総督府の公文書類の中に残された。本書はその一部について考察を加え、船籍登録書も影印し紹介する。

下田密航事件をめぐる松陰の義勇、象山の智謀とペリーの仁愛。幕府の『墨夷応接録』、米日和親条約と羅森「日本日記」、松陰自筆の『海国図志』抄録・「投夷書」と下田獄中の嘆願書、象山『省けん録』およびペリーの航海日誌中の松陰乗船記録など、「その時心が動いた」瞬間をキャッチした第一級の文字史料と画像を網羅する入魂の力作。

明治維新150周年に当り、あえて安政期の外交で活躍し儒教的理念と世界的視野を持合せた幕吏の代表作を提示する。扉絵としてカラー図版113点、第1部は『地理全志』・『満清紀事』、第2部は『省斎年譜草案』・『省斎遺藁』、第3部は忠震自筆の『輿地便覧』と大槻文庫旧蔵『瀛環表』などを収録。よって「敗者」側の功績と精神を後世に伝える。

19世紀末に日本人の領事、深澤暹が編集した『北京官話全編』は、全378章からなり、『語言自邇集』(T. F. Wade)を凌ぐ北京語研究の極めて重要な資料である。今回、それを完全影印し、さらに、輪読会のメンバーによる研究論文および全語彙索引を付して三巻本として上梓するが、学界に裨益すること大である。

19世紀末に日本人の領事であった深澤暹が編集した『北京官話全編』は、全378章からなり、『語言自邇集』(T. F. Wade)を凌ぐ北京語研究においては、極めて重要な資料である。今回、それを完全に影印し、研究論文および全語彙索引を付して三巻本として上梓するが、本書はその中巻である。

関西大学東西学術研究所資料集40-3

北京官話全編の研究（下巻）

— 付影印・語彙索引 —

内田 慶市 編著

B5上製 962頁 定価 9,680円 (本体価格 8,800円 + 税)
ISBN 978-4-87354-673-5 C3087 (2018.3)

19世紀末に日本人の領事であった深澤暹が編集した『北京官話全編』は、全378章からなる北京語研究においては、極めて重要な資料である。今回、それを完全に影印し、研究論文および全語彙索引を付して三巻本として上梓するが、本書はその結びとなる下巻として、研究論文と語彙索引を収めた。

関西大学東西学術研究所資料集41

内藤湖南 敦煌遺書調査記録 續編

— 英佛調査ノート —

玄 幸子 高田 時雄 編

B5上製 656頁 定価 7,590円 (本体価格 6,900円 + 税)
ISBN 978-4-87354-646-9 C3022 (2017.3)

『内藤湖南 敦煌遺書調査記録』の続編。1924（大正13）年から1925（大正14）年にかけ、内藤湖南一行がヨーロッパに渡航し、ロンドンおよびパリで敦煌写本の調査を行った。本書は、関西大学内藤文庫に所蔵される記録ノート全13冊を、解説と索引を附して影印するものである。内藤湖南の敦煌学を知るための基本資料となる一冊。

関西大学東西学術研究所資料集43

日本の近世近代絵画と文化交渉

中谷 伸生 著

B5上製 298頁 定価 5,390円 (本体価格 4,900円 + 税)
ISBN 978-4-87354-675-9 C3071 (2018.3)

江戸時代から現代に至る日本近世近代絵画史研究。江戸時代の大坂画壇の絵画を含む狩野派、四条派、文人画から近代および現代絵画までの交流を扱う論考。日本の絵画を中心とする中国、台湾、フランス、スペインなどの絵画との比較研究。新資料を数多く掲載した研究書で、美術史的な文化交渉学の可能性を問う。

関西大学東西学術研究所資料集44

『拝客訓示』の研究

— 解題と影印 —

内田 慶市 編著

B5上製 252頁 定価 6,380円 (本体価格 5,800円 + 税)
ISBN 978-4-87354-692-6 C3016 (2019.3)

マテオ・リッチを始めとするイエズス会宣教師の手によると思われる東西文化に関わる中国語の問答集。これを通して、当時の西洋人の中国観や中国人のヨーロッパに関する知識の伝播を知ることが出来る極めて貴重な資料である。文化交渉の資料としてだけでなく、近代中国語研究においても本書の刊行は極めて有益な物である。

関西大学東西学術研究所資料集45

シャルトル大聖堂

— 秋山博愛撮影写真追憶 —

中谷 伸生 編著

A4上製 246頁 定価 6,380円 (本体価格 5,800円 + 税)
ISBN 978-4-87354-696-4 C3070 (2019.3)

長らく関西大学の教壇に立った故・秋山博愛教授撮影の1960年代から1970年代のシャルトル大聖堂についての写真集で、修道院活動に関する講義ノートを収録。同時に、関西大学教授中谷伸生撮影による2008年以後の写真と論文を収録し、21世紀に入って大修理を進めるシャルトルの新旧の表情を紹介する。

関西大学東西学術研究所資料集46

戦ひの記 インパール作戦

— 「弓」師団長 田中信男従軍記 —

増田 周子 編著

B5上製 198頁 定価 4,510円 (本体価格 4,100円 + 税)
ISBN 978-4-87354-702-2 C3021 (2019.3)

インパール作戦第33師団「弓」師団長田中信男中将の『従軍日誌』全文初公開！ 従軍作家火野葦平が託され、日本に持ち帰った貴重な日誌！ 戦後70年以上を経た現在「死の作戦」と言われた戦争の真実が克明に活写され、師団長の苦悩や陸軍上層部の暴挙の様が浮かび上がる。世界平和を改めて考えるための必読の書。

関西大学東西学術研究所資料集47

『華英通語』四種 — 解題と影印

内田 慶市 田野村 忠温 編著

B5上製 670頁 定価 11,000円 (本体価格 10,000円 + 税)
ISBN 978-4-87354-719-0 C3087 (2020.3)

『華英通語』は、中国で出版された英語の単語と会話文例を収めた書物である。本書はその『華英通語』の道光版をはじめ、19世紀に商人として中国に渡ったイギリス人、ロバート・トームの「華英通語雑話」など貴重な四種を影印、詳しい解題を付している。いずれも日中欧言語接触研究の貴重な資料であることは言うまでもない。

関西大学東西学術研究所資料集48

南京官話資料集

— 『拉丁語南京語詞典』他二種 —

内田 慶市 編著

B5上製 494頁 定価 8,250円 (本体価格 7,500円 + 税)
ISBN 978-4-87354-718-3 C3087 (2020.3)

19世紀中葉以降、北京官話が、それまで広く使用された南京官話に取って代わるといふ事象が起きた。南京官話に関する資料は少ないが、今回、これまで目に触れることなかった資料三種（ラテン語南京語辞典、教義問答、南京官話テキスト）を解題を付けて影印し、研究者の便に供することとした。

関西大学東西学術研究所国際共同研究シリーズ 9

泊園記念会創立50周年記念論文集

吾妻 重二 編

A5 338頁 定価 4,400円 (本体価格 4,000円+税)

ISBN 978-4-87354-526-4 C3021 (2011.10)

関西大学東西学術研究所国際共同研究シリーズ 10

戦争の記録と表象

— 日本・アジア・ヨーロッパ —

増田 周子 編著

B5 230頁 定価 3,520円 (本体価格 3,200円+税)

ISBN 978-4-87354-565-3 C3090 (2013.3)

東西学術研究所創立60周年記念論文集

関西大学東西学術研究所 編

B5上製 576頁 定価 7,700円 (本体価格 7,000円+税)

ISBN 978-4-87354-528-8 C3022 (2011.10)

日本図書館協会選定図書

アジアにおける経済・法・文化の展開と交流 5

アジアにおける文化システムの展開と交流

森部 豊 橋寺 知子 編著

A5上製 288頁 定価 3,740円 (本体価格 3,400円+税)

ISBN 978-4-87354-543-1 C3022 (2012.3)

泊園記念会は1961年、大阪の漢学塾「泊園書院」を記念して本学に設立され、2010年10月に第50回泊園記念講座として国際シンポジウム「東アジアの伝統教育と泊園書院」を開催。本書は中国、韓国、日本の研究者によるシンポジウムの研究発表を中心とし、泊園書院に関する初めての論文集。東アジアの書院・私塾に関する論考も多数収める。

本書は、2013年度に開催された日本・韓国共催の国際シンポジウムをまとめた論集である。戦後70年を経た現在、日本・アジア・ヨーロッパの戦争の記録と表象—ギェンター・グラス、ヘミングウェイ・火野葦平・韓国現代詩人—をとりあげ、戦争について再認識し、平和への道を模索する画期的な論考集。

関西大学東西学術研究所は、1951年に創設され、本年度で60周年を迎える。これまで本所は東西両洋の文化交流研究に多くの成果を上梓してきた。それらの成果は既に100冊を越えている。さらに新たな地平を開く意味で、東西文化交流という課題をもとに、関西大学に勤務する元研究員や現在の研究員による成果として上梓するものである。

2007（平成19）年度から4年間、関西大学東西学術研究所で展開された共同研究「アジアにおける文化システムの展開と交流」は、中央アジア文化と環インド洋文化の2班から成り、各文化圏の成り立ちや多様性、文化の交流関係を探ってきた。本書はその研究成果報告で、多彩な研究員の視点から、アジア文化の諸相を具体的に論じる。

関西大学経済・政治研究所出版図書

関西大学経済・政治研究所研究双書第158冊

地域社会と情報環境の変容

—地域における主体形成と活性化の視点から—

吉岡 至 編著

A5上製 330頁 定価 3,630円(本体価格 3,300円+税)
ISBN 978-4-87354-581-3 C3036 (2014.3)

戦後一貫して首都圏に政治・経済・文化の諸活動が集中する一方で、「中央」に対する「地方」の衰退や「コミュニティ」の崩壊が問題となってきた。本書は、地域社会の復興、維持、発展に向けた情報環境の整備に焦点を当て、具体的な調査事例に基づきながら、地域メディアの活動と役割を捉え直し、今後の課題や方向性を示す。

関西大学経済・政治研究所研究双書第159冊

子どもの安全と リスク・コミュニケーション

関西大学経済・政治研究所 子どもの安全とリスク・コミュニケーション研究班 編
A5 262頁 定価 2,530円(本体価格 2,300円+税)
ISBN 978-4-87354-582-0 C3037 (2014.3)

関西大学経済・政治研究所「子どもの安全」班による研究成果。リスクマネジメントの基本的な考え方、子どもを取り巻くリスク、子どもを持つ生活者のリスクマネジメント、ケータイと子どもの安全、メンタルヘルスと子どもの安全、お受験とリスクマネジメント、個人情報の保護、参加型手法を取り入れた防災教育、学校の危機管理と防災教育。

関西大学経済・政治研究所研究双書第160冊

東アジア経済・産業のダイナミクス

関西大学経済・政治研究所 東アジア経済・産業研究班 編
A5上製 260頁 定価 4,180円(本体価格 3,800円+税)
ISBN 978-4-87354-612-4 C3034 (2015.3)

歴史や文化、経済など多くの側面において相互に深いつながりを持ち、世界経済の成長を牽引する東アジア諸国は、相互関係をより深化させる必要がある。このことは域内の「共存共栄」の実現だけでなく、世界全体の持続的発展にも直結する。本書は、東アジアに生起する多様な事象を経済、政策、経営、応用数学などの視点から考える。

関西大学経済・政治研究所研究双書第163冊

市民マラソンがスポーツ文化を変えた

亀井克之 杉本厚夫 西山哲郎 増田明美 著
尾久裕紀 吉田香織 打越忠夫 協力
A5 184頁 定価 1,650円(本体価格 1,500円+税)
ISBN 978-4-87354-648-3 C3075 (2017.3)

2007年の第1回東京マラソン開催以来、「市民マラソン」がブームとなっている。本書は「スポーツ文化」をキーワードに、この社会現象にアプローチする。地域振興型マラソンのいすい健康マラソンの事例、都市型マラソンとしての大阪マラソン、マラソン大会のリスク管理など、スポーツ文化を軸にした広範なディスカッションを盛り込む。

関西大学経済・政治研究所研究双書第167冊

市民自治の育て方

—協働型アクションリサーチの理論と実践—

草郷 孝好 編著

A5上製 170頁 定価 1,870円(本体価格 1,700円+税)
ISBN 978-4-87354-670-4 C3036 (2018.3)

SDGsが示す持続する社会の実現には、地域社会の当事者である市民-行政-NPOの協働がカギを握る。この当事者協働を促し、ボトムアップ型の市民自治を醸成するために、研究者にできることは何か？ 本書は、学際的研究班の研究成果をもとに、実践的研究の必要性、理論、特色、倫理等を概説し、先駆的取り組みを紹介する。

関西大学経済・政治研究所研究双書第168冊

財政の健全化と公会計改革

柴 健次 編著

A5上製 200頁 定価 2,200円(本体価格 2,000円+税)
ISBN 978-4-87354-671-1 C3033 (2018.3)

現金ベースの予算と発生ベースの会計がどのように関連付けられるかが重要である。本研究では、財政、会計、管理、評価、格付けという分野での個別論点を棚卸し、今後の研究への足掛かりとした。その観点から、財政の健全化には会計情報の活用が重要であることを論じている。特に、吹田市における管理会計的な具体的利用の研究結果を紹介。

関西大学経済・政治研究所研究双書第172冊

続・市民マラソンがスポーツ文化を変えた

亀井克之 杉本厚夫 西山哲郎 増田明美 吉田香織
尾久裕紀 著/打越忠夫 白方健一 M高史 協力
A5 118頁 定価 1,760円(本体価格 1,600円+税)
ISBN 978-4-87354-717-6 C3075 (2020.3)

主な内容「ロンドンマラソンに見る物語性」、「ベルリンマラソンのマジック」、「大阪マラソンのボランティアをブランド化」、「大阪マラソンによる自己変革と組織変革」、「市民ランナーとトップランナーの交流に学ぶ」。ロンドン、ベルリン、大阪マラソンなど、市民マラソンがスポーツ文化にもたらしたものは何かを考察。



関西大学法学研究所出版図書

差異と共同

—「マイノリティ」という視角—

孝忠 延夫 編著

A5上製 470頁 定価4,620円(本体価格4,200円+税)

ISBN 978-4-87354-530-1 C3030 (2011.11)

21世紀グローバル市民社会における「国民国家」のあり方を「マイノリティ」を手がかりに考察するために設立された『マイノリティ研究センター』の研究「中間」成果。「マイノリティ」という視角から、多様な差異の中にもこそ、新たな〈共同〉の可能性とその姿があるのではないかという問題意識を共有する論稿を収録。

著訳編者名索引

ア

浅野宜之	12
鰐坂真	5、9
吾妻重二	4、29、30、32、33、36
飴野仁子	13
安藤輝次	18
飯島暢	11
池島正興	13
池田佳子	18、23
池田進	5
石井康博	17
石原敏子	26
井谷聡子	3
伊藤誠宏	22
井上克人	28、29
井上泰山	25
井上宏	15
イバン・ディアス・サンチョ	27
今井弘	19
入子文子	25
岩崎千晶	17
岩見和彦	15
鵜飼康東	26
宇佐見太市	26
宇佐美幸彦	21、27
打越忠夫	37
内田慶市	4、6、28、29、31、34、35
江川直樹	20
M 高史	37
大倉雄次郎	14
大津留（北川）智恵子	10
大庭脩	32
岡田忠克	16
緒方正則	20
尾久裕紀	37
オギュスタン・バルク	6
奥和義	13
奥純	4
奥田隆一	3、23

奥村佳代子	30
尾島史賢	12
小田桐奈美	23
小幡斉	19

カ

カイト由利子	17
カール・インマーマン	27
柏木治	26、31
片桐新自	15
加藤雅人	6
亀井克之	14、37
カルロス・フランシスコ・モンヘ	32
河合忠仁	22
川口浩一	11
川口美貴	11
河崎信樹	13
河村厚	5
関西大学経済史研究会	14
関西大学経済・政治研究所 子どもの安全と リスク・コミュニケーション研究班	37
関西大学経済・政治研究所 東アジア経済・ 産業研究班	37
関西大学ジェイン・オースティン研究会	26
関西大学東西学術研究所	36
木岡伸夫	6
菊地歌子	23
北川勝彦	9
北川央	7
ギンター・ヤコブス	11
草郷孝好	37
久保田賢一	17
熊谷明泰	7
栗田和彦	12
黒田勇	2
黒田研二	3、16
玄幸子	23、34、35
高明均	23
孝忠延夫	12、38

小嶋美由紀	4
後藤裕也	25
木庭元晴	8
小林剛	21

サ

酒井友里	27
笹川慶子	7
佐藤真人	13
サラ・プジョル・ラッセル	27
柴健次	37
芝田豊彦	5
シャーリー・クラーク	18
章培恒	25
J・ロバート・レノン	25
沈国威	29、31
下間頼一	20
白方健一	37
菅原慶乃	29
杉本厚夫	37
関屋俊彦	21

タ

戴耀晶	4
高作正博	12
高田時雄	34、35
高橋誠一	28
高屋定美	13
田中俊也	3
田野村忠温	35
田村香月子	13
鼓宗	27、31、32
陶徳民	2、4、21、26、30、 31、32、33、34
徳永昌弘	13
土倉莞爾	2、10
富田英典	15

ナ

内藤友紀	14
永田憲史	11
中谷伸生	31、35
中村善雄	25

二階堂善弘	30、32
西川知亨	3
西山哲郎	37
蜷川順子	21、30
野村幸正	5

ハ

狭間香代子	3、16
橋口勝利	9
橋寺知子	36
長谷部剛	21、27
羽原敬二	14
浜本隆志	7
原田輝彦	2、9
原田正俊	29
ハンス・シュナイダー	5
伴義孝	7
ビセンテ・ウイドブロ	31
平田渡	31、32
廣川嘉裕	10
廣瀬幹好	14
藤善眞澄	31
福田公教	3
古川智樹	17
ヘンリー・ジェイムズ	25
干井洋一	27
細川裕史	7
堀潤之	29

マ

増田明美	37
増田周子	29、35、36
松浦章	7、28、29、30、32、34
マルセリーノ・アヒース＝ビリャベルデ	31
溝井裕一	7
村尾純子	25
森仁志	8
森隆男	17、18、29
森貴史	3、7、21
森部豊	28、36

ヤ

八島智子	22
------	----

藪田 貴	7、21
山口卓也	17、18
山寺三知	21
山根 繁	24
山本幾生	5
山本英一	24
山本登朗	28
吉岡 至	37
吉田香織	37
米田文孝	17、18
四方美智子	25

ラ

駱玉明	25
ラモン・ゴメス・デ・ラ・セルナ	32
李佳樑	4、24
李昶學	6
李春喜	25
劉雄峰	32

ワ

若槻 健	17
和田葉子	30

書名索引

ア

- アイロニーと共感の間 (品切れ)
- 青本黒本集 (品切れ)
- 明らかなことばⅠ (品切れ)
- 明らかなことばⅡ (品切れ)
- アジアが結ぶ東西世界 (品切れ)
- アクティブラーニングのための学習評価法 18
- アジア史紀行 (品切れ)
- アジアにおける文化システムの展開と交流 36
- アジアの中の台湾 (品切れ)
- アジアの民間信仰と文化交渉 (品切れ)
- 葦分船 (品切れ)
- 飛鳥の風土と歴史 (品切れ)
- 飛鳥藤原京の山河意匠 8
- あなたは加害者? それとも被害者? 12
- 姉家督 (品切れ)
- アマルフィ 海法研究試論 (品切れ)
- アメリカが生む／受け入れる難民 10
- アメリカ自動車工業の研究 (品切れ)
- アメリカ石油工業の成立 (品切れ)
- アメリカ手形法 (品切れ)
- アメリカのドイツ政策の史的展開 13
- アメリカの理想都市 (品切れ)
- アメリカ文学史へのアプローチ (品切れ)
- アメリカ連邦政府における
情報資源管理政策 (品切れ)
- アメリカ労使関係の一系譜 (品切れ)
- アメリカ労働史論 (品切れ)
- アメリカン・ウェルフェア・キャピタリズム (品切れ)
- アメリカン・リアリズムの系譜 21
- 新たなリスクと中小企業
(Les PME face aux nouveaux risques) 14
- アラン・ロブ＝グリエの小説 (品切れ)
- アラン・ロブ＝グリエの小説Ⅱ 4
- 安永九年安房千倉漂着南京船元順號資料 (品切れ)
- 安政二・三年漂流小唐船資料 (品切れ)
- 異界が口を開けるとき (品切れ)
- 生きがいの創造と人間関係 (品切れ)
- イギリス中世国制史の研究 (品切れ)
- イギリスの小売商業 政策・開発・都市 (品切れ)
- イギリス文学の諸相 (品切れ)
- 〈いのち〉響き合う世界へ (品切れ)
- イブン・ジュバイル旅行記 (品切れ)
- 意味論の内と外 6
- EUと日本学 7
- インターナショナル・ハーヴェスター社
従業員代表制の研究 (品切れ)
- インティメイト・ストレンジャー 15
- インド憲法 (品切れ)
- インドの憲法 (品切れ)
- インドの憲法〔新版〕 12
- インドの不思議 (品切れ)
- ウィーン万国博の研究 (品切れ)
- ヴィゴツキーと教育学 (品切れ)
- Web 授業の創造 (品切れ)
- 浮世草子集 (品切れ)
- ウサーマ・ブヌ・ムンキズ 回想録 (品切れ)
- ウソと欺瞞のレトリック 24
- 海の回廊と文化の出会い (品切れ)
- 海を渡ったタロイモ (品切れ)
- 雲山抄 (品切れ)
- 英語教育に生かす英語語法学 23
- 英国海上保険約款論 (品切れ)
- 英語ことわざ使用の実態 3
- 英語語法学の展開 23
- 英語語法学をめざして 23
- 英語にみる性とことば (品切れ)
- Abraham Lincoln, Samuel Williams and
East Asia 4
- 英文学におけるユーモアと諷刺の伝統 (品切れ)
- 英米国際私法判例の研究国際債権法の動向 (品切れ)
- 英米の絵本の窓から 26
- 英米文学と戦争の断層 (品切れ)
- エクエ・ヤンバ・オー (品切れ)
- エジプト (品切れ)
- SOI Lubistor の物理学と応用 (品切れ)
- エズラ・パウンドとギリシア悲劇 (品切れ)
- 越境の映画史 29
- 越境の野球史 8

エックハルトとゾイゼ	(品切れ)
エドガー・アラン・ポオ研究	(品切れ)
江戸時代の唐話に関する基礎研究	(品切れ)
江戸時代の日中関係資料	(品切れ)
江戸書状 (一)～(三)	(品切れ)
EMMA VOL. I	(品切れ)
EMMA VOL. II	26
えんびつ (上)(下)	(品切れ)
遠来の客	(品切れ)
欧米財政学・経済学導入史上の忘れられた人々	(品切れ)
欧米の中小企業問題	(品切れ)
大阪空港裁判の展開 (上)	(品切れ)
大阪時事新報記事目録	
建築と社会編 昭和 I	(品切れ)
大阪時事新報記事目録	
文芸と映画編 昭和 I	(品切れ)
大阪周縁の村落史料	(品切れ)
大阪の公害問題資料	(品切れ)
大阪の文化と笑い	15
大阪の笑い	15
大島鎌吉というスポーツ思想	7
オフィスガールの憂鬱	(品切れ)
音楽作品とその同一性の問題	(品切れ)
女が家を継ぐとき	(品切れ)

カ

会計教育方法論	(品切れ)
外国語学習とコミュニケーションの心理	田 22
外国語教育リサーチとテストングの基礎概念	(品切れ)
外国語コミュニケーションの情意と動機	22
介護と治療	(品切れ)
海南政典の研究	(品切れ)
カウンセリングの心理学	(品切れ)
『華英通語』四種一解題と影印	35
顔をみること	21
かかわりのコスモロジー	(品切れ)
退還貫珍の研究	(品切れ)
家族への手紙	(品切れ)
価値意識の社会学的研究	(品切れ)
活動理論と教育実践の創造	(品切れ)
カフェハウスの文化史	(品切れ)
貨幣資本論	(品切れ)
上方文化を探索する	(品切れ)

カミュ『異邦人』のムルソー	(品切れ)
カミュの思想と文学	(品切れ)
家礼文献集成 日本篇 一	(品切れ)
家礼文献集成 日本篇 二	32
家礼文献集成 日本篇 三	32
家礼文献集成 日本篇 四	33
家礼文献集成 日本篇 五	33
家礼文献集成 日本篇 六	33
家礼文献集成 日本篇 七	33
家礼文献集成 日本篇 八	33
家礼文献集成 日本篇 九	4
河内大師山	(品切れ)
変わりゆく社会と家計の消費行動	(品切れ)
変わりゆく情報基盤	(品切れ)
漢簡研究の現状と展望	(品切れ)
歙喜寺文書	(品切れ)
韓国の英語教育政策	22
関西大学考古学研究室	
創設三十周年記念考古学論叢	(品切れ)
関西大学考古学資料図鑑	(品切れ)
関西大学東西学術研究所	
創立三十周年記念論文集	(品切れ)
関西大学と大正ロマンの世界	7
関西大学長澤文庫蔵琉球官話課本集	34
関西大学泊園文庫蔵書目付 書目索引之部	(品切れ)
漢字文化圏諸言語の近代語彙の形成	(品切れ)
勸進能井狂言尽番組	(品切れ)
寛政元年土佐漂着安利船資料	(品切れ)
寛政十二年遠州漂着唐船萬勝號資料	(品切れ)
漢籍西遊記	(品切れ)
カンバーの顔面角理論	21
紀伊半島の文化史的研究 民俗編	(品切れ)
祇園精舎	(品切れ)
企業組織再編の会計戦略	(品切れ)
企業の投資行動と法人課税の経済分析	(品切れ)
技術移転と多国籍企業	(品切れ)
技術と労働問題	(品切れ)
技術の文化史	(品切れ)
技術の文化史 II	20
基礎から深く理解するラッシュモデリング	(品切れ)
北玉山古墳	(品切れ)
「気づき」の構造	(品切れ)
教育改革のながれを読む	(品切れ)
教育新生への視座	(品切れ)
教育を構想する人びと	(品切れ)
競争社会における金融政策	(品切れ)

競争戦略と経営システムの構築	14
享保時代の日中関係資料 (一)～(三)	(品切れ)
居延漢簡索引	(品切れ)
拒絶の投票	(品切れ)
銀行家たちのロマン主義 ㊦	26
均衡経路の不安定性	13
近世対馬陶窯史の研究	(品切れ)
近世日中交渉史料集 (一)～(五)	(品切れ)
近世日中交渉史料集 (六)	32
近世日本海運の諸問題	(品切れ)
近世俳書集	(品切れ)
近世東アジア海域の帆船と文化交渉	28
近世東アジアにおける口語中国語文の研究	30
近世部落史研究	(品切れ)
近代英華英辞典解題	(品切れ)
近代啓蒙の足跡	(品切れ)
近代における東西言語文化接触の研究	(品切れ)
近代東アジア海域の人と船	29
金融システムの動態	(品切れ)
グアテマラの染織	(品切れ)
クレアシオニズムの詩学	31
グレゲリーア抄	(品切れ)
グローバリゼーションと変貌する地域経済	(品切れ)
グローバリゼーションを規律する	
Money と Justice の関係について ㊦	9
グローバル金融危機と経済統合	13
グローバル経済における経営と会計の研究	(品切れ)
グローバル市民社会における	
平和、安全、そして安心	(品切れ)
経営コンサルタントのバイオニア	(品切れ)
経営参加と労働組合	(品切れ)
経営者とリスクテキング	(品切れ)
「経営情報システム論」の展開	(品切れ)
経営組織論	(品切れ)
経済学教育論の研究	(品切れ)
経済学教育論の研究〔増補版〕	(品切れ)
経済発展と交通・通信	14
経済変動と金融	(品切れ)
経済民主主義と経営参加	(品切れ)
経済民主主義と産業民主主義	(品切れ)
刑法上の諸問題	(品切れ)
ゲオルク・フォルスター	(品切れ)
ゲオルク・フォルスター コレクション	(品切れ)
研究開発費会計	(品切れ)
賢愚経	(品切れ)
言語と自然	(品切れ)

現実と落着 ㊦	5
建設技術者のための知識情報処理の実践	(品切れ)
現代アメリカ国債管理政策史	13
現代社会と環境・開発・文化	(品切れ)
現代社会の福祉実践	16
現代中国語アスペクトの体系的研究 ㊦	4
現代中国語における外来語研究	(品切れ)
現代中国語における情報源表出形式 ㊦	24
現代中小企業論〔改訂〕	(品切れ)
現代都市政策の再検討	(品切れ)
現代独米関係論	(品切れ)
現代日本外交論	(品切れ)
現代日本出生力分析	(品切れ)
現代日本の企業〔入門〕	(品切れ)
現代日本の政治思想的考察 ㊦	10
現代日本論入門	(品切れ)
現代の社会経済システム	(品切れ)
〈現場〉のアイドル文化論 ㊦	3
憲法的責任追及制論Ⅰ	(品切れ)
憲法的責任追及制論Ⅱ	(品切れ)
行為の心理学	(品切れ)
公害課税論	(品切れ)
構成主義パラダイムと学習環境デザイン	17
構造変化と利潤率	(品切れ)
縞紵風雅集(雨森芳洲全書 一)	(品切れ)
抗日軍政大学の動態	(品切れ)
購買態度の構造分析	(品切れ)
稿本 傳聖澤撰 暦法問答	(品切れ)
国際経済と産業組織	(品切れ)
国際私法序論	(品切れ)
国際租税法序説	(品切れ)
国際身分法序説	(品切れ)
国際労働移動の経済学	(品切れ)
古今序開書	(品切れ)
児島惟謙 大津事件手記	(品切れ)
語順と文法	(品切れ)
個人科学としての心理学	5
古新聖經殘稿 外二種 北堂本與滿漢合璧本	6
コストリカ選詩集一緑の祈り	32
古代の中国文化を探る	19
国家刑罰	11
国家の主権性	(品切れ)
国家の存在性	(品切れ)
国家の団体性	(品切れ)
国境なきヨーロッパ	(品切れ)
ことばの研究と英語教育	(品切れ)

子どもの安全とリスク・コミュニケーション	37
湖北秋収暴動経過の報告	(品切れ)
コミュニケーションのための英語音声学研究	㊦ 24
雇用・失業指標と不安定就業の研究	(品切れ)
語用論と英語の進行形	(品切れ)
『語録解』研究	23

サ

財産的刑事制裁の研究	11
財政の健全化と公会計改革	37
差異と共同	38
堺鍛通	(品切れ)
えも言われぬ美しさの、きらびやかにして、永遠なる サーカス	32
サマセット・モームの小説群	(品切れ)
サマセット・モームの短編小説群	(品切れ)
さまよえる人 ルース ベネディクト	(品切れ)
サラ・ブジョル・ラッセル詩集	㊦ 27
サルトルとポスト構造主義	(品切れ)
サルトルの文学	(品切れ)
産業経済学	(品切れ)
産業構造の転換と中小企業	(品切れ)
三国劇翻訳集	(品切れ)
三國志通俗演義史傳 (上)(下)	(品切れ)
三國志への道標	㊦ 25
参天台五臺山記 (上)	31
参天台五臺山記 (下)	(品切れ)
参天台五臺山記の研究	(品切れ)
GM	(品切れ)
C. P. スノウの大河小説研究	(品切れ)
シェイクスピアにおける Nature の意味	(品切れ)
色神問答	(品切れ)
死刑選択基準の研究	11
重野安繹における外交・漢文と国史	34
思考の発達についての総合的研究	(品切れ)
資産効果と財政金融政策	(品切れ)
市場と正義	(品切れ)
詩人と女性	(品切れ)
事実文編 (一)～(六)	(品切れ)
持続的な学びのための大学授業の理論と 実践	㊦ 18
時代を生きる若者たち	15
示談と損害賠償	(品切れ)
自治体経営のイノベーション	(品切れ)
シチリア海法序説	㊦ 12

実在と現実	(品切れ)
実在と認識 中観思想研究Ⅱ	(品切れ)
実践知性としての英文学研究	㊦ 26
シナ・インド物語	(品切れ)
信濃の一茶・火の女	(品切れ)
ジブシー	(品切れ)
資本主義発展の政治経済学	(品切れ)
市民自治の育て方	37
市民マラソンがスポーツ文化を変えた	37
社会学概論	(品切れ)
社会哲学から政治哲学へ	(品切れ)
寂照山成菩提院所蔵『悟鈔』影印 翻刻	(品切れ)
シャルトル大聖堂	35
上海経済圏と日系企業	(品切れ)
上海總工會の報告書	(品切れ)
17世紀フランス文法家証言集	(品切れ)
17世紀フランス文法家証言集Ⅱ	(品切れ)
17世紀フランス文法家証言集Ⅲ	㊦ 22
17世紀フランス文法家証言集Ⅳ	㊦ 22
17世紀フランス文法家証言集Ⅴ	㊦ 22
17世紀フランス文法家証言集Ⅵ	㊦ 22
十八世紀イギリス小説の視点	(品切れ)
一八世紀ドイツビールの博物誌	(品切れ)
16世紀フランスにおけるフランス語とフランス語観	(品切れ)
熟達心理学の構想	(品切れ)
「順序づけ」と「なぞり」の意味論・語用論	(品切れ)
巡歴 大和風物誌	(品切れ)
松陰とベリー	31
生涯学習概論	(品切れ)
小学校算数科で利用されてきた具体物	17
情報社会の伝統詩	26
情報社会の理論的探究	(品切れ)
情報メディアと現代社会	(品切れ)
ジョージ・グロス	(品切れ)
植学啓原と植物学の語彙	(品切れ)
諸蕃志	(品切れ)
ジョン・スタインベック『怒りのぶどう』を読む	(品切れ)
新課程 博物館学ハンドブック1	17
新課程 博物館学ハンドブック2	17
新課程 博物館学ハンドブック3	18
秦漢思想研究文献目録	(品切れ)
人工シルクの女の子	(品切れ)
人生と哲学	(品切れ)

清代上海沙船航運業史の研究	(品切れ)
清代中国琉球交渉史の研究	28
清代内河水運史の研究	(品切れ)
清代帆船沿海航運史の研究	(品切れ)
新訂 スケッチ・パリを歩きま専科	(品切れ)
心的活動と記憶	(品切れ)
新聞記事からみた水平社運動	(品切れ)
新聞「泊園」	33
新編兄島惟謙	(品切れ)
新唯識論	(品切れ)
神話から神化へ	32
スケッチ・パリを歩きま専科	(品切れ)
スタック経済学史	(品切れ)
スタインベック文学の研究	(品切れ)
スタインベック文学の研究Ⅱ	(品切れ)
スタインベック文学の研究Ⅲ	(品切れ)
スタンダーのオイコノミア	26
ストック活用型団地再編への展望(前編)	(品切れ)
ストック活用型団地再編への展望(後編)	(品切れ)
スポーツの人 大島鎌吉	(品切れ)
住まいと集落が語る風土	29
聖域の伝統文化	(品切れ)
西欧財政学と明治財政	(品切れ)
生活とバイオ	(品切れ)
西教東漸と中日事情	30
政策とリーダーシップ	(品切れ)
生産文化論	(品切れ)
青春の変貌	(品切れ)
西土與近代中國：羅伯聃研究論集	31
税制改革の応用一般均衡分析	(品切れ)
正当防衛について	(品切れ)
西独都市の社会学的研究	(品切れ)
性の革命	(品切れ)
生の体育	(品切れ)
政府-NPO 関係の理論と動向	10
世界の考古学	(品切れ)
薛允升 唐明律合編稿本(上)(下)	(品切れ)
浙江と日本	(品切れ)
攝津加茂	(品切れ)
1955年「アジア諸国会議」とその周辺	29
1930年代における日本の金融政策	14
全国市民連盟の研究	(品切れ)
戦後日本経済と政策金融	2
戦後日本の資本利益率格差	13
戦後日本の〈法文化の探求〉	(品切れ)
戦争の記録と表象	36

選択、期待および不確実性	(品切れ)
1824年バイエルン王国刑法典	
フォイエルバッハ草案	(品切れ)
相互作用で解く心と社会	(品切れ)
宋代思想の研究	(品切れ)
漱芳閣書畫記	(品切れ)
『造洋飯書』の研究	4
続狂言史の基礎的研究	21
続・市民マラソンがスポーツ文化を変えた	37
続・青春の変貌	15
ソグド人の東方活動と東ユーラシア世界の	
歴史的展開	28
続・パリを歩きま専科	(品切れ)
続 芳洲外交関係資料集(雨森芳洲全書 四)	(品切れ)
組織決定の科学	(品切れ)
ソーシャルワーク実践における社会資源の	
創出	16
それもまたよし	(品切れ)
存在・感情・政治	5

タ

〈体育会系女子〉のポリティクス	3
体育とは何か	(品切れ)
大学教育の国際化への対応	18
大学生の学びを育む学習環境のデザイン	17
大学生、福島を聴く	9
大学体育の改造	(品切れ)
大学体育の課題と展望	(品切れ)
大学での学び	3
第三帝国の文化状況	(品切れ)
大正癸丑蘭亭会への懐古と継承	33
「大乘起信論」の研究	(品切れ)
対訳・百人一首	(品切れ)
台湾漢人村落の社会経済構造	(品切れ)
台湾民主化と中台経済関係	(品切れ)
多国籍企業と価格操作	(品切れ)
多国籍企業と課税問題	(品切れ)
多国籍企業と行動網領	(品切れ)
多国籍企業と実施契約	(品切れ)
多国籍企業と複合運送	(品切れ)
太宰・漱石・モームの小説	(品切れ)
戦ひの記 インパール作戦	35
ダダの詩	(品切れ)
辰巳経世著作集	9
ダニエル・デフォー研究	27

田淵豊吉議会演説集 (1)～(3)	(品切れ)
「魂なき教育」への挑戦	(品切れ)
地域社会と情報環境の変容	37
地球四十六億年の進化	(品切れ)
乳房抄	(品切れ)
中近東の水車・風車	(品切れ)
中国・和蘭羊毛技術導入関係資料	(品切れ)
中国華東・華南地区と日本の文化交流	(品切れ)
中国共産黨五年來の政治主張	(品切れ)
中国近世戯曲小説論集	(品切れ)
中国経済・企業の多元的展開と交流	(品切れ)
中国現代史	(品切れ)
中国現代文学論考	(品切れ)
中国古兵器論叢	(品切れ)
中国語教学文法概論	(品切れ)
中国語の誤用分析	(品切れ)
中国語文法学史稿	(品切れ)
中国思想研究	(品切れ)
中国“新時期文学”論考	(品切れ)
中国第八路軍行軍記	(品切れ)
中国朝鮮族の研究	(品切れ)
中国同族村落の社会経済構造研究	(品切れ)
中国農村の歴史と経済	(品切れ)
中国の人権と市場経済をめぐる諸問題	(品切れ)
中国文学史新著 (増訂本) 上巻	(品切れ)
中国文学史新著 (増訂本) 中巻	25
中国文学史新著 (増訂本) 下巻	25
中国文法学説史	(品切れ)
中小企業再生の道	(品切れ)
中世ウェールズをゆく	(品切れ)
鑄鉄の知られざる世界	(品切れ)
朝鮮総督府の「国語」政策資料	(品切れ)
朝鮮における戦時「国語常用」政策下の	
「毎日新報」	7
チロルの悲劇 ㊦	27
沈黙と教説 中観思想研究 I	(品切れ)
対馬藩の研究	(品切れ)
対馬藩藩儒 雨森芳洲の基礎的研究	(品切れ)
伝わることば	(品切れ)
ディケンズと『クリスマス・ブックス』	(品切れ)
低地の歴史生態システム	(品切れ)
定点観測	(品切れ)
デズモンド・イーガン詩集 折鶴 PAPER CRANES	(品切れ)
哲学の現在	(品切れ)
哲学の周辺	(品切れ)

哲学の世界	(品切れ)
転換期における福祉国家	(品切れ)
天保七年薩摩片浦南京船金全勝號資料	32
ドイツ監査制度論	(品切れ)
ドイツ奇人街道	7
ドイツ語が織りなす社会と文化	(品切れ)
ドイツ語圏の言語政策	(品切れ)
ドイツ古典哲学の本質と展開	5
ドイツ産業連関分析論	(品切れ)
ドイツにおける神秘的・敬虔的思想の諸相	(品切れ)
ドイツにおけるラディカルな敬虔主義	5
ドイツの社会経済的産業基盤	(品切れ)
ドイツの文芸検閲史	(品切れ)
動学的一般均衡理論研究	(品切れ)
道教・民間信仰における元帥神の変容	(品切れ)
東西学術研究所創立60周年記念論文集	36
東西学術研究と文化交渉 ㊦	30
東西文化の翻訳	31
唐詩新攷	(品切れ)
唐詩新攷 補篇	(品切れ)
唐船進港回棹録・島原本唐人風説書・割符留帳	(品切れ)
唐船持渡書の研究	(品切れ)
動的経済システムの最適制御	(品切れ)
東南アジアの華人廟と文化交渉 ㊦	30
逃避の病理	(品切れ)
豆満江地域開発	(品切れ)
東洋汽船と映画	7
唐話課本五編	(品切れ)
〈時〉と〈鏡〉 超越的覆蔽性の哲学	29
土星びとの歌	(品切れ)
杜甫詩文集の形成に関する文献学的研究 ㊦	27
トレード・タームズの使用動向に関する実証研究	(品切れ)

ナ

内藤湖南と清人書画	32
内藤湖南 敦煌遺書調査記録	34
内藤湖南 敦煌遺書調査記録 續編	35
内部統制の構築	(品切れ)
長崎聖堂祭酒日記	(品切れ)
長崎唐館図集成 (近世日中交渉史料集 六)	32
なぜビタミンCは健康にいいのか ㊦	19
なにわの事もゆめの又ゆめ	7

南紀寺社史料	(品切れ)
南京官話資料集	35
南部アフリカ社会経済史研究	(品切れ)
西川祐信集 (上) (下)	(品切れ)
西田幾多郎と明治の精神	(品切れ)
西ヨーロッパ・キリスト教民主主義の研究	㊦ 2
21世紀の情報専門職をめざして	(品切れ)
二足ロコモーションの意味論	(品切れ)
耳鳥齋アーカイヴズ	(品切れ)
日本漢学思想史論考	(品切れ)
日本近代文学と思想性	(品切れ)
日本語教育学の新視座	(品切れ)
日本古代史稿	(品切れ)
日本古代中世の仏教と東アジア	29
日本台湾統治時代のジャンク型帆船資料	34
日本的リスクマネジメント理論の現代的意義	14
日本と琉球の歴史景観と地理思想	28
日本における近代中国学の始まり	26
日本におけるスタインベック文献書誌	(品切れ)
日本の近世近代絵画と文化交渉	35
日本の経済学史	(品切れ)
日本の経済構造と部落産業 (二世紀増補版)	(品切れ)
日本の経済思想史	(品切れ)
日本の水車	(品切れ)
日本の賃金構造と賃金決定機構	(品切れ)
日本の労働組合組織に関する研究	(品切れ)
日本文学研究協会 設立関係書類 (上) (下)	(品切れ)
日本貿易の発展と構造	13
ニュース・メディアと世論	(品切れ)
荷渡指図書と比較法的研究	(品切れ)
人間主義と唯物論と仏教	(品切れ)
人間の政治学	(品切れ)
農村部落	(品切れ)
能面図	(品切れ)

JA

『拝客訓示』の研究	35
俳句の本質	(品切れ)
泊園記念会創立50周年記念論文集	36
泊園書院と漢学・大阪・近代日本の水脈	30
泊園書院と大正蘭亭会百周年	21
泊園書院歴史資料集 (泊園書院資料集成 一)	(品切れ)
泊園文庫印譜集 (泊園書院資料集成 二)	33
舶載書目 (上・下)	(品切れ)
博物館学概説〔改訂版〕	(品切れ)

博物館学ハンドブック	(品切れ)
博物館資料図録	(品切れ)
場所の声を聞く	20
発達障害をとまなう子どもへの神経心理学的検査	(品切れ)
林謙三『隋唐燕楽調研究』とその周辺	21
バリを歩きま専科	(品切れ)
バンカシュランス戦略	(品切れ)
ハンガリーの農業と農業協同組合	(品切れ)
東アジア経済・産業のダイナミクス	37
東アジア言語接触の研究	29
東アジアの文人世界と野呂介石	(品切れ)
東と西の文化交流	(品切れ)
微生物の不思議な力	(品切れ)
非線形数学入門	(品切れ)
左手のための小作品集	25
ヒトから人へ	(品切れ)
人の顔または表情の識別について (上) (中)	(品切れ)
人の顔または表情の識別について (下)	5
響きあう身体	(品切れ)
ピューリタン革命史研究	(品切れ)
表現と実在	(品切れ)
標識のある迷路	(品切れ)
啓く 拓く 開く	(品切れ)
平山省斎と岩瀬忠震	34
ビルダーボーゲンの研究	21
風景論	31
風土学はなぜ 何のために	㊦ 6
釜山窯の史的研究	(品切れ)
藤澤東暎著 辨非物	(品切れ)
仏教と汎神論	(品切れ)
福建と日本	(品切れ)
不透明社会の中の若者たち	15
フランス急進社会党研究序説	(品切れ)
フランス語発音指導法入門	23
フランス相続法の研究	(品切れ)
フランス法の氏名	(品切れ)
日本を愛したドイツ人	
フリッツ・ルンプと伊勢物語版本	28
ブレアのイギリス1997-2007	(品切れ)
フレデリック・テイラーとマネジメント思想	㊦ 14
文化共生学ハンドブック	(品切れ)
文化交渉学と言語接触	28
文化交渉学のパスpekティブ	29
文化五年土佐漂着江南商船郁長發資料	(品切れ)

文化事象としての中国 (品切れ)
 文化システムの磁場 (品切れ)
 文化十二年豆州漂着南京永茂船資料 (品切れ)
 文政九年遠州漂着得泰船資料 (品切れ)
 文政十年土佐漂着江南商船蔣元利資料 (品切れ)
 フンボルトの言語思想とその後世への影響 (品切れ)

米軍基地問題の基層と表層 ㊦ 12
 北京官話全編の研究 (上巻) 34
 北京官話全編の研究 (中巻) 34
 北京官話全編の研究 (下巻) 35
 ベルリン文学地図 (品切れ)
 便宜置籍船と多国籍企業 (品切れ)
 ヘンリー・ジェイムズ短編選集
 「ある年の物語」他三編 ㊦ 25
 ヘンリー・ジェイムズ短編選集
 「オズボーンの復讐」他四編 25
 ヘンリー・ジェイムズ『ニューヨーク版』序文集 (品切れ)

法益保護によって刑法は正当化できるか? 11
 芳洲外文関係資料集 (雨森芳洲全書 三) (品切れ)
 芳洲文集 (雨森芳洲全書 二) (品切れ)
 豊饒なる明治 28
 法的強制と人格性 11
 法律行為論上の基本的諸問題 (品切れ)
 法律行為論の研究 (品切れ)
 寶暦三年八丈島漂着南京船資料 (品切れ)
 北米運河史研究 (品切れ)
 ぼくらは囚人だ (品切れ)
 ポストコロニアル文学の研究 (品切れ)
 ポスト・ソヴィエト時代の「国家語」 23
 ポスト・ソーシャル時代の福祉実践 ㊦ 3
 ポピュリズムの現代 ㊦ 10

マ

「マイノリティ」へのこだわりと憲法学 (品切れ)
 my little abc book 26
 『馬經諺解』語彙研究 ツギコノオキ 23
 マニフェスト 31
 マラルメ詩集 (品切れ)
 MANSFIELD PARK VOL. I ~ VOL. III (品切れ)
 聖心みこころのイコノロジー 30
 南太平洋の英語文学の研究 (品切れ)
 見ようとする意志 (品切れ)
 未来を切り拓く市民性教育 17

聖なるものをめぐる哲学
 ミルチャ・エリアーデ 31
 明清期における武神と神仙の発展 (品切れ)
 ムラとマチの時空 (品切れ)
 名家叢書 (上) (中) (下) (品切れ)
 明治前期染織資料集成 (品切れ)
 明治前期における日本の国債発行と国債思想 (品切れ)
 明治の漢学者と中国 (品切れ)
 メディア スポーツ 20世紀 ㊦ 2
 メディアとメッセージ (品切れ)
 メランコリーの垂線 25
 もう一つの内藤湖南像 2
 問題意識性を目標とするファシリテーション (品切れ)

ヤ

大和の美と風土 (品切れ)
 郵送調査法 (品切れ)
 郵送調査法 (増補版) (品切れ)
 ゆったり ゆっくり (品切れ)
 ゆれ動く若者と家族 (品切れ)
 ユーロと国際金融の経済分析 (品切れ)
 よい説明とは何か (品切れ)
 幼児の知的発達 (品切れ)
 吉田松陰と佐久間象山 34

ラ

落着と實在 ㊦ 5
 リスクマネジメントの基礎理論と事例 (品切れ)
 留学生教育の新潮流 17
 琉球の都市と村落 (品切れ)
 両大戦間イギリス経済史の研究 (品切れ)
 両大戦間期の日英経済関係の諸側面 13
 令集解官位令職員令語句索引 (品切れ)
 令集解所引漢籍備考 (品切れ)
 旅行者行動の心理学 (品切れ)
 理論政治学 (品切れ)
 臨床認知科学 (品切れ)
 連結納税会計論 (品切れ)
 労使関係史論 (品切れ)
 労働者概念の再構成 11
 労働者が闘う時 (品切れ)
 ローレンス・スターン論集 (品切れ)

露現と覆蔵	(品切れ)
魯迅 救亡の夢のゆくえ	(品切れ)
魯迅 日本という異文化のなかで	(品切れ)
ロック宗教思想の展開	(品切れ)
『ロビンソン・クルーソー』挿絵物語	(品切れ)

フ

ワイン・ウォーズ：モンダヴィ事件	(品切れ)
和歌山市における古墳文化	(品切れ)
わかりやすい刑罰のはなし	11
綿繰具の調査研究	(品切れ)
私と哲学	(品切れ)
笑いの力	15

欧文図書

A Book of <i>Ancrene Wisse</i>	(品切れ)
A PALAEOGRAPHER'S REVIEW: THE INSULAR SYSTEM OF SCRIPTS IN THE EARLY MIDDLE AGES VOLUME ONE	(品切れ)
A PALAEOGRAPHER'S REVIEW: THE INSULAR SYSTEM OF SCRIPTS IN THE EARLY MIDDLE AGES VOLUME TWO	(品切れ)
A Study in the Theory of General Equilibrium and Growth	(品切れ)
Audience Participation in Politics	23
Das Hohelied in der Marburger und der Berleburger Bibel	(品切れ)
DIGITAL CONSUMPTION TAX (D-CT)	(品切れ)
From Medieval to Modern	30
Grundprobleme der Betriebsführung und Betriebswirtschaftslehre	(品切れ)
HSÜ KUANG-CHI AND ASTRONOMICAL REFORM	(品切れ)
INTERNATIONAL REGULATION OF THE USE OF NUCLEAR WEAPONS	(品切れ)
Japan's Economic Relations with Africa in a Historical Perspective	9
MINYAKU YAKKAI	(品切れ)
NEW HORIZONS IN COMPUTERIZED TESTING OF READING	(品切れ)
NEW LEARNING CHALLENGES	(品切れ)

RECASTS IN A JAPANESE EFL CLASSROOM	(品切れ)
Risk Management	14
SMALL BUSINESS IN THE JAPANESE ECONOMY	(品切れ)
SMALL BUSINESS OF BURAKU IN JAPAN'S ECONOMY	(品切れ)
Stadt und Gesellschaft	(品切れ)
TAOISM, MEDICINE AND QI IN CHINA AND JAPAN	(品切れ)
'Temptations' from <i>Ancrene Wisse</i> vol. 1	(品切れ)
The Angevin Empire and the Community of the Realm in England	(品切れ)
The Cultural Interaction of East Asia Seas in the Early Modern	30
The Low Countries : a Crossroads in the Middle Ages and the Renaissance	(品切れ)

ご案内

- この目録には2021年6月1日現在の内容を掲載しております。
- 電子書籍に対応しております書籍には電子書籍対応の記載があります。54点を丸善雄松堂および紀伊國屋書店、Pro Questにて配信しております。 電子書籍対応
ご購入方法・価格等は当該ストアにてご確認ください。

〔書籍ご注文方法〕

- お近くの書店にてお買い求めください。
店頭がない場合はお取り寄せいただけます。
(Amazonなどのネットストアからご購入いただけます)
- 当出版部ホームページからご購入いただけます。
www.kansai-u.ac.jp/Syppan/
- 当出版部に直接ご注文ください。
お電話・FAX・はがき・e-mailによるご注文を承ります。
代金引換にてお送りいたします。
ご入用の書名・冊数とお届け先の住所・氏名・電話番号をお知らせください。
配達希望日と時間帯の指定も可能です。

〈送料・手数料〉

送料500円（購入価格が税込2,500円以上の場合は無料）
代引手数料300円

当出版部ホームページ・Twitter・Facebookにて最新情報を発信しています



関西大学出版部

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

TEL 06-6368-0238 FAX 06-6389-5162

E-mail shuppan@ml.kandai.jp

www.kansai-u.ac.jp/Syppan/